アイヌ民話ライブラリ 1

上田トシの民話 1

アイヌ民族博物館

第５話　散文の物語

エゾマツと魔鳥

収 録 日：1999年９月29日
資料番号：35298A
添付ＣＤ：2-2（35分47秒）

第５話　散文の物語「エゾマツの女神と魔鳥」[1]

（エゾマツ神の妻が語る）

スンク　トノ　マッ　アネ。
sunku　tono　mat　a=ne.　　私はエゾマツの神の妻です。
エゾマツ　神　妻　（私）である

イシカラ　ホントモ　コロ　クル
Iskar　hontomo　kor　kur　　石狩川の中流に住む男と
石狩川　の中流　の　人

イシカラ　エトコホ[2]　ウン　クル
Iskar　etokoho　un　kur　　河口に住む男は
石狩川　の上流　に住む　人

ウコトクイェコロパ　ワ
ukotokuyekorpa　wa　　仲が良く
互いに仲が良く　て

5　ウコパヨカ　ウコシネウパ　コロ
ukopayoka　ukosinewpa　kor　　互いに行き来し、訪ね合って
互いに行き来し　互いに訪ね合い　ながら

オカアン[3]　ロク　ヒネ　オラ
oka=an　rok　hine　ora　　暮らしていました。
暮らす（私達）　だった　して　こんど

タネ　ケマパセパ　ヒ　オラノ　アナクネ
tane　kemapasepa　hi　orano　anakne　　もう年をとって足が弱ってからは
もう　足が重い　とき　それから　は

エイタサ　ウコパヨカ　カ　ソモ　キ　ノ
eytasa　ukopayoka　ka　somo　ki　no　　あまり行き来もしないで
あまり　互いに行き来　も　しない　で

オカアン　ペ　ネ　ア　プ、
oka=an　pe　ne　a　p,　　暮らしていたのですが
暮らす（私）　もの　だっ　た　が

10　パハウヌアン　アクス
pahawnu=an　akusu　　うわさでは
噂を聞く（私）　したところ

イシカラ　プトゥ　ウン　ニシパ　ポホ
Iskar　putu　un　nispa　poho　　石狩川の河口の旦那さんの息子が
石狩川　の河口　の　長者　の息子

アキモトゥライヌ　ワ
a=kimoturaynu　wa　　山で行方不明になり
（人）山で行方不明になっ　て

1　1999 年 9 月 29 日、上田トシ氏宅にて、本田優子氏が調査。別調査で偶然藤村久和氏が同席している。この話の伝承経路については上田トシ氏は何も語っていないが、当館の音声資料 34626 で川上まつ子氏がほぼ同じ内容の話を語っている。

2　以後の話の展開からして、プトゥ putu「河口」の言い間違いと思われる。以下何か所かに見られる。

3　この前後は三人称と一人称が混在していて、話者が不明確になっている。

オラノ　ハンケノ　オカ　ウタラ　ネ　ヤ
orano　hankeno　oka　utar　ne　ya　　それからは近くに住む人たちや
それから　近くに　いる　人たち　だ　とか

コタン　コロ　ウタラ　ネ　ヤッカ
kotan　kor　utar　ne　yakka　　村人たちが
村　の　人たち　で　も

15 ケシト　アン　コロ
kesto　an　kor　　毎日
毎日

イウオロ　コホユッパ　ワ　イフナラパ　ヤッカ
iwor　kohoyuppa　wa　ihunarpa　yakka　　山を駆け回って探しても
狩り場　を走っ　て　人探しをし　ても

エネ　ネ　ヒ　カ
ene　ne　hi　ka　　どうにも
どう　である　こと　も

ウコエラミシカリパ　ワ　オカ
ukoeramiskaripa　wa　oka　　行方がわからないでいる
が互いにわからない　して　いる

（中流に住む息子が語る）

ヤク　アイェ　ヒ　アオナハ　ヌ　ヒネ
yak　a=ye　hi　a=onaha　nu　hine　　という話を父が聞いて
と　(私)言う　こと　(私の)父　聞い　て

20 オラ　アオナハ　エネ　ハウェアニ。
ora　a=onaha　ene　hawean _hi.　　このように言いました。
こんど　(私の)父　このように言った

“エネ　アトクイェコン　ニシパ　ネ　ワ
“ene　a=tokuyekor_　nispa　ne　wa　　「あんなに仲の良かった旦那さんで
こんなに　(私)親しい　旦那さん　であっ　て

イネノ　シネ　ポ　タクプ
i=neno　sine　po　takup　　私と同じく一人きりの
(私)のように　ひとり　息子　だけ

コロ　クル　ネ　ア　プ、
kor　kur　ne　a　p,　　息子なのに
持つ　人　だっ　た　が

マク　ネ　ヒネ
mak　ne　hine　　どうしたことか
どう　であっ　て

25 ポホ　アキモトゥライヌ　ワ
poho　a=kimoturaynu　wa　　息子が山で行方不明になって
息子　(人)山で行方不明になっ　て

ケシト　アン　コロ　ハンケノ　オカ　ウタラ
kesto　an　kor　hankeno　oka　utar　　毎日近くの人たちが
毎日　近くに　いる　人たち

イフナラパ　コロ　オカ　ヤク　アイエ　クス
ihunarpa　kor　oka　yak　a=ye　kusu　　探しているそうだ。
人探しをし　ながら　いる　と　(私)言う　ので

エアニ　カ　ネウン　エヤイモニシカ　ヤッカ
eani　ka　neun　e=yaymoniska　yakka　　おまえもどんなに忙しくても
あなた　も　どんなに　(お前)忙しく　ても

エセメアンヌ[4]　ノ　カ
e=semeannu　no　ka　　気づかって
(お前)気遣いし　て　も

30　イフナラ　ワ　インカラ”
ihunara　wa　inkar”　　探しに行ってみなさい」
人探しをし　て　みろ

セコロ　アオナハ　イェ　ヒ　クス　オラ
sekor　a=onaha　ye　hi　kusu　ora　　と父が言うので
と　(私の)父　言う　ので　こんど

エキムネアン　ワ　イフナラアン　ヤッカ
ekimne=an　wa　ihunara=an　yakka　　山に行って探しましたが
山猟に行く(私)　して　人探しをする(私)　しても

ネプ　カ　アヌカルミ　カ　イサム　ノ
nep　ka　a=nukar　_humi　ka　isam　no　　何の手がかりもなく
何　も　(私)見る　感じ　も　ない　で

オヌマン　イワカン　ルウェ　ネ　ア　プ　オラ
onuman　iwak=an　ruwe　ne　a　p　ora　　夕方に帰って来ました。
夕方　帰る(私)　こと　だっ　た　が　こんど

35　イシムネ　アン
isimne　an　　翌日
翌日　になる

エキムネ　エトコ　アオイキ　コロ
ekimne　etoko　a=oyki　kor　　山に行く準備をして
山猟に行く　準備　(私)し　ながら

ヤイソイェネレアン　ア　プ　オラノ
yaysoyenere=an　a　p　orano　　出かけたのに
自分で外に出る(私)　だった　が　こんど

イシカッ　トゥラシ
Iskar_　turasi　　石狩川をさかのぼって
石狩川　をさかのぼって

4　意味未詳。セマナン semanan 気遣フ、心配スル［久 767］と言おうとしたものか。

アラパアン　ルスイ　フミ
arpa=an　rusuy　humi
行く(私)　したい　感じ
行ってみたい気がします。

40 マカナク　ネ　ワ…ヤ
makanak ne　wa...ya
どのように　であって　か
どうして

エネ　イシカッ　トゥラシ
ene　isikar_　turasi
こんなに　石狩川　を遡って
こんなに石狩川を上って

アラパアン　ルスイ　ネ　ヤ
arpa=an　rusuy　ne　ya
行く(私)　したい　だ　か
行きたいのか

アエラミシカン　ノ
a=eramiskari_　no
(私)をわからない　で
自分でもわからずに

パシ　カネ　テレケ　カネ　アン　コロ
pas　kane　terke　kane　an　kor
走り　ながら　跳ね　ながら　いる　と
一目散に

45 イシカッ　トゥラシ　アラパアン　コロ　オラ
Iskar_　turasi　arpa=an　kor　ora
石狩川　を遡って　行く(私)　ながら　こんど
石狩川の川上に向かって

アエヤイコパシテ　コロ
a=eyaykopaste　kor
(私)自分を走らせる　ながら
走って行って

エマカアシ　テク　アン　コロ　オラ
emakaas　tek　an　kor　ora
立ち止まる　さっと　する　と　こんど
ちょっと一休みしようとすると

スイ　ア…　シイェトコ　ワ
suy　a...　siyetoko　wa
また　自分の前　から
また前のほうから

アイコシエタイェ　ヘネ　キ　ペコロ
a=i=kosietaye　hene　ki　pekor
(人が私を)引っ張り　でも　する　ように
引っ寄せられるように

50 ヤイヌアン　ワ　オラノ
yaynu=an　wa　orano
思う(私)　して　こんど
思って

ペットゥラシ　アラパアン　ヒネ
petturasi　arpa=an　hine
川を遡って　行く(私)　して
川上に行って

ペテトク　タ　アラパアン　イネ
petetok　ta　arpa=an　_hine
川の源流　に　行く(私)　して
川の源流まで行きました。

インカラン　ルウェ　ネ　アクス
inkar=an　ruwe　ne akusu　見ると
見る(私)　こと　だっ たところ

シポロ　ヌプリ　アニネ
siporo　nupuri an _hine　大きな山があって
とても大きい 山　あっ て

55 ネ　ヌプリ　チャラピリピル[5]
ne　nupuri carpirpiru　ツルツルすべりやすい
その 山　すべりやすい

アトゥサ　ヌプリ[6]　アシ　ワ　アン。
atusa　nupuri　as　wa an.　はげ山がそびえています。
はだかの　山　立っ　て　いる

ヌプリ　カ　タ
nupuri ka ta　山の上に
山　の上 に

ポロ　スンク　アシ　ワ　アン　シリ
poro　sunku　as　wa an　siri　大きなエゾマツが立っているのが
大きな　エゾマツ　立っ　て　いる　様子

シエトクン　アヌカラ　ペ　オラノ
sietok　un　a=nukar pe　orano　見えるのですが
自分の前　に　(私)見る　もの こんど

60 ネ　スンク　トモ　ウンノ
ne　sunku　tomo unno　そのエゾマツのほうに
その エゾマツ　に向かって

アラパアン　ルスイ　ヤッカ　オラ
arpa=an　rusuy　yakka　ora　行こうにも
行く(私)　したい　しても　こんど

エネ　アン　チャラピリピル　ヌプリ
ene　an　carpirpiru　nupuri　そんなツルツルの山に
こんな　すべりやすい　山

マカナク　イキアン　ワ　アトゥラシ　プ　アン
makanak　iki=an　wa　a=turasi　p　an　どうやって登れるものか
どのように　する(私)　して　(私)登る　もの か

セコロ　ヤイヌアン　ヒケ　カ
sekor　yaynu=an　hike　ka　と思いましたが
と　思う(私)　して　も

65 ネン　ネ　ヤッカ　ネ　ヌプリ
nen　ne yakka　ne　nupuri　何とかしてその山を
どう　で　も　その 山

5　意味未詳。チャラピリピル car-pir-piru［(すべることを表す擬態)・pir-piru ～を拭く（重複形)］で、ツルツルすべることか。次行にアトゥサ　ヌプリ atusa nupuri とあるので、泥ですべるのではなく、火山灰に足をとられるということだろう。

6　アトゥサ　ヌプリ atusa nupuri（裸・山)。溶岩や硫黄に覆われた火山を云う．［知里真志保『地名アイヌ語小辞典』］

トゥラシ　アラパアン。
turasi　arpa=an.
登って　行く(私)
登って行きました。

アシコエタイェ　プ　カ　イサム…
a=sikoetaye　p　ka　isam...
(私)自分を引っ張る　もの　も　ない
つかまるものもない

アエヤイコユプ　プ　カ　ネプ　カ　イサム
a=eyaykoyupu　p　ka　nep　ka　isam
(私)自分をしばる　もの　も　何　も　ない
自分を固定するものも何もない

チャラピリピル　ヌプリ　ネ　コロカ　オラ
carpirpiru　nupuri　ne　korka　ora
すべりやすい　山　だ　けれど　こんど
はげ山なのですが

70 ヘメス　エトコ　アオイキ　イネ
hemesu　etoko　a=oyki　_hine
登る　準備　(私)し　て
登る準備をして

ヘメスアン　ルウェ　ネ　アクス　オラノ
hemesu=an　ruwe　ne　akusu　orano
登る(私)　こと　だっ　たところ　こんど
登って行きました。

イキアン　アイネ　ヌプリ　カ　タ
iki=an　ayne　nupuri　ka　ta
する(私)　したあげく　山　の上　に
やがて山の上に

ヘメスアン　ルウェ　ネ　ヒネ　オラ
hemesu=an　ruwe　ne　hine　ora
登る(私)　こと　であっ　て　こんど
登ると

ネ　スンク　シポロ　スンク
ne　sunku　siporo　sunku
その　エゾマツ　本当に大きい　エゾマツ
エゾマツの大木が

75 アシ　ワ　アン　ヒ　クス
as　wa　an　hi　kusu
立っ　て　いる　ので
立っていたので

ネ　スンク　サマ　タ　アラパアニネ
ne　sunku　sama　ta　arpa=an　_hine
その　エゾマツ　のそば　に　行く(私)　して
そばまで行って

スンク　オカリ　アプカサン　ヒネ…
sunku　okari　apkas=an　hine...
エゾマツ　のまわりを　歩く(私)　して
まわりを歩いて

ルウェ　ネ　アクス
ruwe　ne　akusu
こと　だっ　たところ
みると

スンク　アエポキヘポキキ[7]
sunku　a=epokihepokiki　　エゾマツの枝がたれ下がって
エゾマツ　(私)頭を下げる

80 アエコモムセ　カネ　アン
a=ekomomse　kane　an　　曲がっています。
(私)曲がっ　ている

スンク　ニタイ…　スンク　チョロポク　タ
sunku　nitay...　sunku　corpok　ta　　エゾマツの下に
エゾマツ　林　エゾマツ　の下　に

パン　スプヤ　アッ　コロ　アン　シリ
pan　supuya　at　kor　an　siri　　薄く煙が上がっているのが
薄い　煙　立っ　て　いる　様子

アヌカラ　ヒ　クス　オラ
a=nukar　hi　kusu　ora　　見えたので
(私)見る　ので　こんど

ニ　オポソ　ネ　コロカ
ni　oposo　ne　korka　　木の葉を透かして
木　を通して　だ　けれど

85 アヌカラ　ルウェ　ネ　アクス
a=nukar　ruwe　ne　akusu　　見ると
(私)を見る　こと　だっ　たところ

イウォロ　オッ　タ　アン　ワ　ネ　ヤ
iwor　or_　ta　an　wa　ne　ya　　長い間山にいて
狩り場　の所　に　い　て　だ　か

イウォロ　コイポカシ[8]　ワ　ネ　ヤ
iwor　koipokas　wa　ne　ya　　見苦しくなったのか
狩り場　でみにくくなっ　て　だ　か

エウォンネ　カ　ソモ　キ　プ　ネ　クス
ewonne　ka　somo　ki　p　ne　kusu　　顔も洗っていないものだから
顔を洗い　も　しない　もの　だ　から

エクロク　ワ　オケレ
ekurok　wa　okere　　垢で真っ黒くなった
黒くなっ　て　しまう

90 イウォロコポカシ　オッカヨ
iworkopokas　okkayo　　見苦しい男が
狩り場でみにくくなる　男性

タンパク　エパクパクセ[9]　コロ　アン　シリ
tampaku　epakpakse　kor　an　siri　　たばこを吸っているのが
たばこ　をふかし　て　いる　様子

7　未詳。エポキヘポキキ［e-poki-hepokiki その頭・下に・頭を下げている］で自動詞かと思われるが、人称接辞はア a= が接頭して他動詞の形となっている。

8　イウォロ　コ　イポカシ iwor ko ipokas「狩り場・で・みにくくなる」

9　未詳。

アヌカラ ヒ クス オラ
a=nukar hi kusu ora　見えたので
(私)を見る ので こんど

ネ スンク オカリ アプカシアプカシアン コロ
ne sunku okari apkas'apkas=an kor　エゾマツのまわりを歩き回りながら
その エゾマツ を回って 歩きに歩く(私) ながら

ヤイコイタカン ハウェ エネ アニ。
yaykoitak=an hawe ene an _hi.　このように言いました。
自分で話す(私) こと こうだった

95 “ネプ カムイ オリワク ウシ ネ ヤ
“nep kamuy oriwak usi ne ya　「何の神がおいでになる場所かは
何 神 が住む する所 だ か

エラミシカリ コロカ
eramiskari korka　わかりませんが
をわからない けれど

フチアペ カムイ エカシ[10] シエプンキネレ ワ
huciape kamuy ekasi siepunkinere wa　火の神様、神の老紳士に守っていただいて
火の 神 おじいさん に自分を守ってもらっ て

クス… アン ヒ ネ ナンコロ クス
kusu... an hi ne nankor kusu　いるのでしょうから
ので いる の だ ろう から

アフナン ヤク ウェン ペ ネ ルウェ ネ ヤ?”
ahun=an yak wen pe ne ruwe ne ya?”　入っては駄目でしょうか」
入る(私) と 悪い もの な の です か

100 セコロ ハウェアナン ルウェ ネ アクス
sekor hawean=an ruwe ne akusu　と言うと
と 言う(私) こと だっ たところ

ネ チセ オンナイ ウン オッカヨ
ne cise onnay un okkayo　その家の中の男は
その 家 の中 にいる 男性

イタク ハウ アニ。
itak haw an _hi.　こう言いました。
話す 声 こうだった

“ネウン ニシパ ネ ヤ
“neun nispa ne ya　「どこの旦那さんか
どこの 旦那さん だ か

アエラミシカリ コロカ
a=eramiskari korka　わかりませんが
(私)わからない けれど

10　火の神はフチ huci（老婦人）として描かれることが多いが、ここではエカシ ekasi（老紳士）と表現されている。

105 アフン ワ イコレ ヤクン
ahun wa i=kore yakun
入っ て (私に)くれる ならば
お入りくださったならば

アコロ ヤヨペプカ アイェ クス ネ ナ”
a=kor yayopepka a=ye kusu ne na”
(私)の 自分の話 (私)言い ます よ
私の話をいたしましょう」

セコロ ネ チセ オンナイ ウン ハワシ イ クス
sekor ne cise onnay un hawas _hi kusu
と その 家 の中 で 言う ので
と、その家の中で言うので

オラ アフナン ルウェ ネ アクス
ora ahun=an ruwe ne akusu
こんど 入る(私) の だっ たところ
入って行くと

ネ オッカヨ タンパク ク コロ アン ヒネ
ne okkayo tampaku ku kor an hine
その 男性 たばこ を吸っ て い て
その男はたばこを吸っていて

110 イエランカラプ[11] ヒ クス
i=erankarap hi kusu
(私に)あいさつをする ので
私にあいさつをするので

アエランカラプ カ キ ヒネ オラ
a=erankarap ka ki hine ora
(私)あいさつする も し て こんど
私もあいさつを返しました。そして

“ヒナク ワ エク ペ ネ ルウェ ネ ヤ?”
“hinak wa ek pe ne ruwe ne ya?”
どこ から 来る もの な の です か
「どこから来たのですか？」

アコウウェペケンヌ アクス
a=kouwepekennu akusu
(私)尋ね たところ
と私が尋ねたところ

オホンノ イタク カ ソモ キ ノ アン ワ ネ ヤ
ohonno itak ka somo ki no an wa ne ya
長い間 話をする も しない で い て だ か
長い間しゃべらずにいたのかも

115 アエラミシカリ コロカ
a=eramiskari korka
(私)わからない けれど
知れませんが

イタク カ エランペウテク ペコロ ペ… ヒネ
itak ka erampewtek pekor pe... hine
言葉 も わからない ような もの そして
言葉もわからないみたいに

ネプ カ イェ カ ソモ キ ワ
nep ka ye ka somo ki wa
何 も 言い も しない で
何も言わないので

11　家を訪れた時などに行われる正式なあいさつ。オンカミ onkami という拝礼の所作で行われる。

アコエランペウテク　ルウェ　ネ
a=koerampewtek　ruwe　ne
(私)わからない　こと　だ
私もなすすべがありません。

コロ　タンパク　ク　コロ　アン　ヒ　クス　オラ
kor　tampaku　ku　kor　an　hi　kusu　ora
自分の　たばこ　を吸って　いる　ので　こんど
男は自分のたばこを吸っています。

120 アシヌマ　カ　タンパク　ク　ワ
asinuma　ka　tampaku　ku　wa
私　も　たばこ　を吸って
私もたばこを吸う

アキ　プ　ネ　クス
a=ki　p　ne　kusu
(私)するもの　だ　から
ので

タンパク　ク　トゥ　パ　レ　パ[12]
tampaku　ku　tu　pa　re　pa
たばこ　を吸う　２　服　３　服
たばこを２服３服

タンパク　アク　カ　キ　ヒネ　オラ
tampaku　a=ku　ka　ki　hine　ora
たばこ　(私)吸い　も　し　て　こんど
吸いました。

アコロ　イカヨプ　オロ　ワ
a=kor　ikayop　oro　wa
(私)の　矢筒　の所　から
そして私の矢筒から

125 チ　アエプ　カ　アセ　プ　ネ　クス
ci　aep　ka　a=se　p　ne　kusu
焼く　食べ物　も　(私)背負う　もの　だ　から
調理済みの食物を持って来ていたので

チ　アエプ　カ　アサンケ　ヒネ
ci　aep　ka　a=sanke　hine
焼く　食べ物　も　(私)を出し　て
それを出して

ネ　ポンポン　アペアリ　アペ　ネ　プ　ネ　クス
ne　ponpon　apeari　ape　ne　p　ne　kusu
その　小さい小さい　火を焚く　火　だ　もの　だ　から
とても小さく火が焚かれていたので

ネ　アペ　オルン　ネ　タンパク　カ
ne　ape　or　un　ne　tampaku　ka
その　火　の所　に　その　たばこ　も
その火にたばこも

アエプ　カ　アチャラパ　コロ…　コロ
aep　ka　a=carpa　kor...　kor
食べ物　も　(私)まき　ながら　ながら
食物もまきながら[13]

130 “スンク　トノ　マッ…
“sunku　tono　mat...
エゾマツ　神　妻
「エゾマツの神の奥方…

12　パ pa はたばこを一服するの「服」。シネ　パ sine pa「一服」で使われ、「二服三服」には使われない［田］とされるが、ここではトゥ　パ　レ　パ tu pa re pa「二服三服」の用例となっている。

13　供物を捧げ、火の神を介してエゾマツの女神に対して祈ることを表している。

スンク　カムイ　スンク　トノ　マッ
sunku　kamuy sunku　tono　mat　　エゾマツの神、エゾマツの神の奥方さま
エゾマツ　神　エゾマツ　神　妻

マッ　カトゥ　ネ　ヒネ
mak　katu　ne　hine　　一体どうして
どう　わけ　であっ　て

エネ　アイヌ　オッカイポ
ene　aynu　okkaypo　　このように人間の男性に
このように　人間　若い男性

エシコヤントネレ　ワ　エアン　ルウェ　ネ　ヤ
e=sikoyantonere　wa　e=an　ruwe　ne　ya　　あなたが宿を貸しておいでなのか
(あなた)宿を貸し　て　(あなた)いる　の　だ　か

135 アエラミシカリ　ワ
a=eramiskari　wa　　わからないのです。
(私)わからず　に

オラ　アコウウェペケンヌ　ヤッカ
ora　a=kouwepekennu　yakka　　私が尋ねても
こんど　(私)尋ね　ても

ネプ　カ　ソモ　イェ　ワ
nep　ka　somo ye　wa　　その人は何も言わないので
何　も　言わない　で

エネ　ネ　ヒ　カ
ene　ne　hi　ka　　どうしていいか
どうする　方法　も

アエランペウテク　ルウェ　ネ　クス
a=erampewtek　ruwe　ne　kusu　　わからないのです。
(私)わからない　こと　だ　から

140 ウェンタラプ　アニ　ヘネ　スンク　トノ　マッ
wentarap　ani　hene　sunku　tono　mat　　夢にでもエゾマツの神の奥方さまが
夢　で　でも　エゾマツ　神　妻

イエパカシヌ　ワ　イコレ　ヤクネ
i=epakasnu　wa　i=kore　yakne　　私に教えてくださったならば
(私に)教え　て　(私に)くれる　ならば

ネウン　カ　イキアン　ワ
neun　ka　iki=an　wa　　何とかして
どう　も　する(私)　して

カシ　アオピウキ[14]　クス　ネ　ナ”
kasi　a=opiwki　kusu ne　na”　　手助けをするつもりです」
(私)救助し　ます　よ

14　カシオピウキ kasiopiwki で「～を救助する」だが、人称接辞はカシ　アオピウキ kasi a=opiwki のような形になることが多い。

セコロ　ハウェアナン　コロ
sekor　hawean=an　kor　　と言って
と　言う(私)　ながら

145 ネ　ポンポン　アペ　オルン
ne　ponpon　ape　or　un　　小さく焚かれた火に
その　小さい小さい　火　の所　に

イチャラパアン　カ　キ　ヒネ　オラ　エアシリ
icarpa=an　ka　ki　hine　ora　easir　　食物をまいて、そうしてから
食べ物をまく(私)　も　し　て　こんど　初めて

ネ　オッカヨ　エウン　ポロ　カム　ノッ
ne　okkayo　eun　poro　kam　not　　男に(調理済みの)大きな肉のかたまりを
その　男性　に　大きい　肉　かたまり

アコレ　ルウェ　ネ　アクス
a=kore　ruwe　ne　akusu　　渡すと
(私)与える　こと　だっ　たところ

オンカミ　ア　オンカミ　ア　コロ
onkami　a　onkami　a　kor　　男は何度も拝礼して
何度も拝礼をし　ながら

150 ウク　ヒネ　エ　コロ　アン。
uk　hine　e　kor　an.　　受け取って食べました。
取っ　て　食べ　て　いる

オラ　ヤイカタ　カ
ora　yaykata　ka　　そして私も
こんど　自分　も

イペルスイアン　ヒ　クス
iperusuy=an　hi　kusu　　お腹が空いたので
お腹が空く(私)　ので

イペアン　カ　キ　ヒネ　オラ
ipe=an　ka　ki　hine　ora　　食事をして
食事する(私)　も　し　て　こんど

ヘアヌアン　ルウェ　ネ　アクス
heanu=an　ruwe　ne　akusu　　横になって眠りにつくと
頭を置く(私)　こと　だっ　たところ

155 ウェンタラプアン　へ…　ネ　アクス
wentarap=an　he...　ne　akusu　　夢を見ました。
夢を見る(私)　か　だっ　たところ

クンネ　コソンテ[15]　ウトムチウレ
kunne　kosonte　utomciwre　　黒い着物をまとい
黒い　上等な着物　を身につける

15　日本語「小袖」から来るといわれる絹などの素材でできている上等な着物の呼び名。神なので高貴な着物を着ているという意味でそのように語られるのであろう。赤い着物は火の神など、その神を象徴するような色の着物を着ている例もあるが、この話のように特に実際の色に関連づけられなくても力の強い神が黒い装束を身にまとっている例もある。黒い色が不吉という感覚は特に見られず、むしろ高貴な神であるという場合が多い。

クンネ　チパヌプ　エパウヌ　カネ　アン
kunne　cipanup　epaunu　kane　an　　黒いかぶり物をした
黒い　かぶり物　を頭につけ　て　いる

カムイ　メノコ　ニ　オペシ　ラン　ヒネ　オラ
kamuy　menoko　ni　opes　ran　hine　ora　　女神が木を伝って下りて来て
神　女性　木　に沿って　下っ　て　こんど

エネ　ハウェアニ。
ene　hawean _hi.　　このように言いました。
このように言った

160 “アシヌマ　アナクネ　スンク　トノ
“ asinuma　anakne　sunku　tono　　「私はエゾマツの神[16]
私　は　エゾマツ　神

アネ　ルウェ　ネ。　オラ　マク…
a=ne ruwe　ne.　ora　mak...　　なのです
(私)な　の　です　こんど　どう

ルウェ　ネ　ア　プ…　アイ…　スンク　コスイェ…
ruwe　ne a　p...　a=i...　sunku　kosuye...　　が
の　だっ た　が　エゾマツ　が揺れる

アイコスイェスイェ　ネ　ヤ
a=i=kosuyesuye　ne　ya　　何が私を揺するのだか
(人が私を)揺らす　だ　か

タネ　タネ　アイシンリッコホクシテ　パクノ
tane　tane　a=i=sinritkohokuste　pakno　　もう少しで根こそぎ倒れてしまうほど
今にも　(人が私を)根こそぎ引っくり返す　ほど

165 アイコスイェスイェ　アイネ
a=i=kosuyesuye　ayne　　揺すられました。
(人が私を)揺らし　たあげく

エウン　モサン　ルウェ　ネ　ヒネ　オラ
eun　mos=an　ruwe　ne　hine　ora　　そこで目覚めて
で　目覚める(私)　の　です　そして　こんど

マク　カトゥ　ネ　ヒネ　エネ　ネ　ヒ　アン
mak　katu　ne　hine　ene　ne　hi　an　　一体どうしたのだろう
どんな　わけ　であっ て　このような　こと なのだろう

セコロ　ヤイヌアン　ヒ　クス
sekor　yaynu=an　hi　kusu　　と思って
と　思う(私)　ので

インカラン　ルウェ　ネ　アクス
inkar=an　ruwe　ne　akusu　　見ると
見る(私)　こと　であっ たところ

16　文脈からしてスンク　トノ　マッ sunku tono mat と言うべきところ。

170 アコロ ニ キタイ タ ケソラプ エキネ
a=kor ni kitay ta kesorap ek _hine
(私)の 木 てっぺん に ケソラプ 来 て
私の木のてっぺんにケソラプ鳥[17]が来て

レウ ヒネ アン ヒネ アアン ヒ クス
rew hine an hine aan hi kusu
とまっ て い て だった から
とまっていたのでした。

マッ カトゥ ネ ヒネ エネ アン ルウェ ネ ヤ
mak katu ne hine ene an ruwe ne ya
どんな わけ であっ て こんな こと だ か
一体どういうわけか

アエランペウテク クス
a=erampewtek kusu
(私)わからない ので
わからずに

インカラン ルウェ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ
(神通力で)見ると

175 イシカラ プトゥ ウン ニシパ ポホ
Iskar putu un nispa poho
石狩川 の河口 の 長者 の息子
石狩川の河口の長者の息子が

ネ ケソラプ カトゥカラ ヒネ オラ
ne kesorap katukar hine ora
その ケソラプ だまし て こんど
そのケソラプ鳥にだまされて

エキムネ に… オラノ
ekimne に ... orano
山猟に行く こんど
山に狩りに行って

シットゥライヌレ ワ
sitturaynure wa
道に迷わせる て
道に迷わされ

カトゥカラ ネ ヤ
katukar ne ya
だます だ か
だまされ

180 シカカムレ[18] ワ オラノ
sikakamure wa orano
自分の上にかぶさっ て こんど
上にかぶさられて

シットゥライヌ アイネ
sitturaynu ayne
道に迷う したあげく
行方不明になっていました。そして

ネ アコロ スンク チョロポク タ
ne a=kor sunku corpok ta
その (私)の エゾマツ の下 に
このエゾマツの下に

---

17 空想上の巨大な鳥の名。ケソラプ kes-o-rap「斑点・がついた・羽」。口承文芸中で人を助ける善神として、また逆に人に災難をもたらす悪神として描かれる両面がある。この物語の場合は後者である。

18 シカカムレ si-ka-kamu-re（自分・の上・覆う・させる）文字通りケソラプ鳥が覆いかぶさったことをさしている。

ルラ　ワ　オラ
rura wa ora　　運ばれて来て
運ん　で　こんど

テ　タ　アヌ　ワ　ネ　ヤクン
te ta anu wa ne yakun　　「ここに男を放っておいて
ここ　に　置い　て　である ならば

185 イペ　カ　ソモ　キ　ヤクン
ipe ka somo ki yakun　　食事もしなかったなら
食事　も　しない　ならば

ケメコッ　ヘネ　キ　ヤクン　オラ　エアシリ
kemekot hene ki yakun ora easir　　飢え死にしてしまうだろう。そうなったら
飢え死にする　でも　する　ならば　こんど　初めて

ピリカ　ラマチ　ウク　クナク　ラム　ワ
pirka ramaci uk kunak ramu wa　　男のきれいな魂を奪ってやろう」と思って
良い　魂　奪う　と　思っ　て

テ　タ　ネ　ルラ　ワ　アン　ルウェ　ネ　ヒ
te ta ne rura wa an ruwe ne hi　　ここに運んで来たことが
ここ　に　運ん　で　いる　こと　である こと

アエラムアン　ワ　オラ
a=eramuan wa ora　　わかりました。
(私)わかる　して　こんど

190 ネノ　アアヌ　ヒ　カ　エアイカッ　ペ　ネ　クス
neno a=anu hi ka eaykap pe ne kusu　　私は放っておくこともできないので
そのまま(私)置く　こと も　できない　もの だ　から

オラノ　ケシ　ト　アン　コロ
orano kes to an kor　　毎日
それから　毎日

アエプ　アコイヤニ　ワ　アイペレ　ネ　ヤ
aep a=koyyani wa a=ipere ne ya　　食物を運んで食べさせていました。
食べ物　(私)運ん　で　(私)食べさせる だ　か

ア…　スンク　アココモムセ　ワ
a... sunku a=kokomomse wa　　エゾマツの枝を曲げて
エゾマツ　(私)曲げ　て

フプチャ　チセ[19]　アカラ　ワ
hupca cise a=kar wa　　枝で家を作って
針葉樹の枝　家　(私)作っ　て

195 オロ　タ　オッカイポ　アアヌ　ワ
oro ta okkaypo a=anu wa　　そこに男性を置いて
そこ　に　若い男性　(私)置い　て

19　フプチャチセ hup ca cise トドマツ・枝・家。常緑の針葉樹の枝を屋根にしてつくる狩り小屋が原意。本編のようにエゾマツの場合にもこの呼称が適用されるらしい。スンクチャチセ sunku ca cise という形は未見。

アエプンキネ　ワ　アナン　ルウェ　ネ
a=epunkine　wa　an=an　ruwe　ne　　守っていたのです。
(私)守っ　て　いる(私)　の　です

コロカ　オラ　ネイ　パクノ
korka　ora　ney　pakno　　しかし、いつまで
けれど　こんど　いつ　までも

ネノ　アン　ヤッカ　オラ
neno　an　yakka　ora　　こうしていても
そのように　あっ　ても　こんど

エネ　ネ　ヒ　カ　イサム　ヒ　クス
ene　ne　hi　ka　isam　hi　kusu　　どうしようもないので
どう　する　仕方　も　ない　ので

200 ネン　カ　アオトゥヤシ　クル[20]
nen　ka　a=otuyasi　kur　　誰か頼れる人を
誰　も　(私)見込んで頼む　人

アパ　ヤクン　セコロ　ヤイヌアン　ワ
a=pa　yakun　sekor　yaynu=an　wa　　見つけなければと思って
(私)見つける　ならば　と　思う(私)　して

ペテピッタ[21]　インカラアン　ヤッカ
pet　epitta　inkar=an　yakka　　川筋を全部見渡しましたが
川　全て　見る(私)　しても

アオトゥヤシ　クル　アパ　カ　ソモ　キ　ノ
a=otuyasi　kur　a=pa　ka　somo　ki　no　　なかなか見つからずに
(私)見込んで頼む　人　(私)見つけ　も　しない　で

アナン　ラポッケ　エアニ　ヘネ　エアシリ
an=an　rapokke　eani　hene　easir　　いるうちに、あなたならば
いる(私)　そのうちに　あなた　でも　それこそ

205 セコロ　ヤイヌアン　ワ…　クス
sekor　yaynu=an　wa...　kusu　　と思ったので
と　思う(私)　ので

アエヤイヌレ　アニ
a=e=yaynure　ani　　私があなたに暗示をかけて
(私がお前に)思わせる　で

アエシコエクテ　ワ
a=e=sikoekte　wa　　ここに呼び寄せたのです。
(私がお前に)来させる　して

エエク　ワ　エアン　ルウェ　ネ　ア　プ　エネ…
e=ek　wa　e=an　ruwe　ne　a　p　ene...　　あなたはここに来ると
(お前)来　て　(お前)いる　の　だっ　た　が

20　オトゥワシ otuwasi この人ならばと頼りにする［久 644］、オトゥワシ otuwasi…に白羽の矢を立てる (?)…を見込んで頼りにする［田］

21　石狩川の川筋。

ソモカ　エネ　エイキ　クナク　アラム　ア　プ
somoka ene e=iki kunak a=ramu a p　　思いも寄らないことに
まさか　こう　(お前)する と　(私)思っ　た　が

210 エネ　ウサ　ピリカ　アエプ　タンパク
ene usa pirka aep tampaku　　このような上等な食物やたばこを
このように いろいろ良い　食べ物　たばこ

イコイチャラパ　ワ
i=koicarpa wa　　まいてくれて
(私に)まい　て

エアラキンネ　エネ　アエイコイトゥパ
earkinne ene a=eykoytupa　　本当に欲しがっていた
本当に　このように　(私)うらやむ

タンパク　イコイチャラパ　プ　ネ　クス
tampaku i=koicarpa p ne kusu　　たばこもまいてくれたので
たばこ　(私に)まく　もの だ　から

タンパク　クルカ　アコヘマチチ[22]　コロ
tampaku kurka a=kohemacici kor　　そのことに姿勢を正して
たばこ　の上　(私)背を伸ばし　ながら

215 アエコヤイライケ　ルウェ　ネ
a=e=koyayrayke ruwe ne　　感謝していたのです。
(私がお前に)感謝する　の　です

コロカ　タネ　タネ　スイ
korka tane tane suy　　しかし近いうちにまた
けれど　もう　もう　また

ネア　ケソラプ　ラン　ナンコロ　クス
nea kesorap ran nankor kusu　　あのケソラプ鳥が降りて来るでしょうから
あの　ケソラプ　下りる　だろう　から

ラン　ワ　ネ　ヤクン　オラ
ran wa ne yakun ora　　来たら
下っ　て　だっ たら　こんど

ネン　カ　エイキ　ワ
nen ka e=iki wa　　あなたが何とかして
どうに　か　(お前)し　て

220 エエチョッチャ　ヘネ　キ　ヤク…　キ　ヒ　アエ…
e=ecotca hene ki yak... ki hi a=e...　　弓矢でケソラプ鳥を射たなら
(お前)射る　でも　し　たら　する こと　(私)

アエプンキネ　クス　ネ　ナ。
a=epunkine kusu ne na.　　私があなたを守ります。
(私)守り　ます　よ

22　ヘマチチ hemachichi 背を伸ばす［久 255］。

オラ　ネン　ポカ　エイキ　ワ
ora　nen　poka e=iki　wa
こんど　何　とか　（お前）し　て
そしてあなたが何とかして

ネ　ケソラプ　エチョッチャ　ヘネ　キ　ヤクン
ne　kesorap　e=cotca　hene ki　yakun
その　ケソラプ　（お前）射る　でも　する　なら
矢を当てたなら

オラノ　ポ　ヘネ　スルク　カラ　ヘネ　キ　ヤクン
orano　po hene　surku　kar　hene ki　yakun
こんど　なおさら　毒　当たる　でも　する　ならば
さらに矢に毒を塗ってあったりしたら

225 ポ　ヘネ　ホチカチカ　ヘネ　キ　ヤクン
po　hene　hocikacika　hene ki　yakun
なおさら　足をばたつかせ　でも　し　たら
苦しみのたうちまわるでしょう。そうしたら

タン　スンク　エチコホクシテ
tan　sunku　eci=kohokuste
この　エゾマツ　（お前達）の上に倒す
このエゾマツはあなたたちのほうへ倒れる

ナンコロ　クス　ネン　ポカ
nankor　kusu nen　poka
だろう　から　何　とか
でしょうから、何とか

カムイ　シセレマクシテ　ヒ　エイェ　アイネ
kamuy　sisermakuste　hi　e=ye　ayne
神　守ってもらう　こと　（お前）言っ　たあげく
神が守ってくれるように祈りなさい。

シリコペケレ　ヤクン　オラ
sirkopeker　yakun　ora
夜が明ける　ならば　こんど
やがて夜が明けたなら

230 タン　オッカイポ　エトゥラ　ワ　エサン　ワ
tan　okkaypo　e=tura　wa e=san　wa
この　若い男　（お前）連れ　て　（お前）下っ　て
あなたはこの男を連れて山を下りて

オナハ　エウン　エトゥラ　ワ　エサン　ワ
onaha　eun　e=tura　wa e=san　wa
父　に　（お前）連れ　て　（お前）下っ　て
父上のところに連れてお行きなさい。

ネ　ヤクン　オラ　オナハ…[23]
ne　yakun　ora　onaha...
である　ならば　そして　父
そうしたなら

ネン　ポカ　エイキパ　ワ　オナハ　キリサマ
nen　poka e=ikipa　wa onaha　kirsama
何　とか　（お前）し　て　父　のそば
何とかして父上のおそばに

ヘコテ　カムイ　キリサマハ[24]
hekote　kamuy kirsamaha
慕う　神　のそば
お慕いする神様のおそばに

23　ここで「はあ、まったくいえんな。はあ、一服するべ（テープを）止めて」と言って中断した後再開。
24　ヘコテ　カムイ　キリサマハ hekote kamuy kirsamaha（つき従う・神・のそば）＝自宅。

235 エコシレパレ ヤク ピリカ ナ”
e=kosirepare yak pirka na”
(お前)到着させる と いい よ
連れて行っておあげなさい」

セコロ ネ スンク カムイ ハウェアン ヤク
sekor ne sunku kamuy hawean yak
と その エゾマツ 神 言う と
とエゾマツの神が言った

アタカラ ルウェ ネ ヒネ オラ
a=takar ruwe ne hine ora
(私)夢に見る の です そして こんど
夢を見ました。

イヨクンヌレアン カ キ コロ
iyokunnure=an ka ki kor
驚く(私) も し ながら
驚いて

アナン ルウェ ネ ア プ
an=an ruwe ne a p
いる(私) の だっ た が
いると

240 ラポッケ ソンノ カ
rapokke sonno ka
そのうちに 本当に
そのうちに本当に

タネ アンノシキ エパ ノ
tane annoski epa no
もう 夜中 に至っ て
もう夜中になり

ハウェ ヌ ネ アクス オラノ
hawe nu ne akusu orano
話 聞く だっ たところ それから
聞いていた通り

ネア スンク アスイェスイェ
nea sunku a=suyesuye
その エゾマツ (私)揺らす
あのエゾマツがゆさゆさ揺さぶられて

タネ タネ アオシンリッコメウケ ヘネ
tane tane a=osinritkomewke hene
もう もう (私)根をひっくり返す でも
今にも根こそぎひっくり返りそうな

245 キ フミ ネ ペコロ… ネ アイネ
ki humi ne pekor... ne ayne
する 音 である よう である そうするうち
音がしました。

インカラアン ルウェ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ
見ると

ネア オッカイポ アナクネ
nea okkaypo anakne
その 若い男性 は
あの男が

ネ スンク ニテケヘ
ne sunku nitekehe
その エゾマツ の枝
エゾマツの枝に

コヨンピッネ　ヒネ　アン　ヒ　クス　オラ
koyonpitne　hine　an　hi　kusu　ora　　しがみついているので
にしがみつい　て　いる　ので　こんど

250 アプンノ　ソイェネアニネ
apunno　soyene=an　_hine　　私はホッとして
静かに　外に出る（私）　して

ソイ　タ　ソイネアン　ル…　ウサ
soy　ta　soyne=an　ru...　usa　　外に出ると
外　に　外に出る（私）　いろいろ

ホマン…　ホマラ　チュピポロ　アン
homan...　homar　cupipor　an　　ほのかな月明りが
ほのかな　月明かり　ある

ルウェ　ネ　ヒネ　オラ　アコ…
ruwe　ne　hine　ora　a=ko...　　さしていて
の　であっ て　こんど　（私）

ネ　スンク　アコノッタララ[25]　ワ
ne　sunku　a=konottarara　wa　　そのエゾマツを反り返って
その　エゾマツ　（私）反り返っ　て

255 インカラン　ルウェ　ネ　アクス
inkar=an　ruwe　ne　akusu　　見上げると
見る（私）　の　だっ　たところ

ニ　キタイ　タ　チカプ　ネ　ヤクン…
ni　kitay　ta　cikap　ne　yakun...　　木のてっぺんに
木　の上　に　鳥　だっ　たら

チカプ　ネ　ノイネ　アン　ペ　ヘ
cikap　ne　noyne　an　pe　he　　鳥らしきものが
鳥　である　らしく　ある　の　か

エクロㇰ　ペ　アン　シリ　イキ　ヒ　クス　オラ
ekurok　pe　an　siri　iki　hi　kusu　ora　　真っ黒いものがいます。そこで
黒い　もの　いる　様子　する　だから　こんど

トゥアイオアイ　レアイ　ア…　アイ[26]
tuay'oay　reay　a...　ay　　特別な毒矢
特別な毒矢

260 アサンケ　ヒネ　オラ　ネ
a=sanke　hine　ora　ne　　を出して
（私）を出す　して　こんど　その

25　コノッタララ konottarara あごを突き出して（上）を見上げている［田］

26　以下トゥアイオアイ tuay'oay として数回出て来る。萱野茂氏は「矢筒の魂、守り神の矢」、川上まつ子氏は「特別の毒矢」と説明している。

ピンネ　アイ　ク　カ　タ
pinne　ay　ku　ka　ta　　男の矢[27]を弓の上に置いて
雄の　矢　弓　の上　で

アノンノイタㇰ　カ　キ　ヒネ
a=nonnoitak　ka　ki　hine　　祈り
(私)祈る　も　し　て

ピンネ　ク　カ　タ　アアヌ　アクス
pinne　ku　ka　ta　a=anu　akusu　　弓につがえたところ
雄の　弓　上　に　(私)置い　たところ

ネ　ク　カ　タ　ウサ　ネア　アイ
ne　ku　ka　ta　usa　nea　ay　　その矢は
その　弓　上　に　いろいろ　その　矢

265 テシケテシケ　テレケテレケ[28]
tesketeske　terketerke　　(弓の上で)反って跳ねてしまうので
反り返る　跳ねる

ルウェ　ネ　ヒ　クス　オラ
ruwe　ne　hi　kusu　ora　　そこで
こと　だ　から　こんど

スイ　ネ　マッネ　アイ
suy　ne　matne　ay　　次に女の矢に
また　その　雌の　矢

アコノンノイタㇰ　カ…
a=kononnoitak　ka...　　祈って
(私)に祈る　も

“アラウェンカムイ　アナㇰネ
“arwenkamuy　anakne　　「悪い神は
悪い神　は

270 タン　トゥアイオアイ　アニ　ヘネ　ネ　ヤㇰ
tan　tuay'oay　ani　hene　ne　yak　　この特別な毒矢を受けて
この　特別な毒矢　で　でも　であれ　ば

エアシリ　アオシコニ　プ
easir　a=osikoni　p　　初めて倒せるもの
初めて　(私)をとる　もの

ネ　ワクス…　ネ　ナ”
ne　wakusu...　ne　na”　　なのだぞ」
だ　から　です　よ

セコロ　ハウェアナン　コロ
sekor　hawean=an　kor　　と言って
と　言う(私)　ながら

27　男の矢、女の矢は口承文芸中でみられる表現だが、実際にどのような違いがあるのかについては未詳。しかし男の矢は当たらず女の矢が当たるというのが常である。

28　注１の伝承で川上まつ子さんはこの部分を「ku ka ta tesketeske だか terketerke kusu…（弓の上で跳ね上がり、反り返ったので…）」と語っているのでそれにならった。男の矢では狙いが定まらなかったということだろう。

ネ アイ マッネ アイ アニ
ne ay matne ay ani
その 矢 女の 矢 で
その矢、女の矢で

275 ネ チカプ アチョッチャ ルウェ ネ アクス
ne cikap a=cotca ruwe ne akusu
その 鳥 (私)射る の だっ たところ
その鳥を射たところ

アイ ウㇰヌ ワ ネ ノイネ
ay uknu wa ne noyne
矢 当たっ て である ようで
矢が当たったようで

ポンノ キリㇼセ ヘ キ ハウ アヌ ア プ オラ
ponno kirirse he ki haw a=nu a p ora
少し キーキー言う か する 声 (私)聞い た が こんど
キーキーと金切り声がかすかに聞こえて

ネ モイモイケ フム カ イサム
ne moymoyke hum ka isam
その 動く 音 も しない
動く音も

レウ フム カ イサム ルウェ ネ ヒネ オラ
rew hum ka isam ruwe ne hine ora
とまる 音 も しない の です そして こんど
とまる音もしなくなったのでした。

280 (アネピッタ ルウェ ネ ヒネ オラノ…)
(anepitta ruwe ne hine orano...)

アフナン ヒネ オラ
ahun=an hine ora
入る(私) して こんど
私は家に入り

アノミ カムイ カムイ キㇼサマ
a=nomi kamuy kamuy kirsama
(私)祭る 神 神 のそば
祭り神のもとへ

アエパウェテンケ コロ
a=epawetenke kor
(私)届け ながら
届くよう

アネピッタ カムイノミアン ネ ヤ
anepitta kamuynomi=an ne ya
夜中じゅう 神に祈る(私) だ か
夜通し神へ祈って

285 オラ イウォㇺコㇺカムイ ネ ヤ
ora iworkorkamuy ne ya
こんど 狩り場の神 だ か
狩場の神にも

アコノンノ… イノンノイタㇰアン コロ アナン
a=kononno... inonnoitak=an kor an=an
(私)祈る 祈る(私) ながら いる(私)
祈りました。

アイネ シㇼコペケレ アン アクス
ayne sirkopeker an akusu
やがて 夜明け になっ たところ
やがて夜が明けると

ネア　オッカヨ…　オッカイポ　アナクネ
nea　okkayo...　okkaypo　anakne　あの若い男が
その　男性　若い男性　は

モコロ　ヒネ　アン　ヒ　クス　オラ
mokor　hine　an　hi　kusu　ora　眠っていたのを
眠っ　て　いる　から　こんど

290 アモソソ　コロ
a=mososo　kor　起こして
(私)を起こし　ながら

“ホプニ　ワ　イペ　ヤク　オラ　ペッペシアン　ペ
“hopuni　wa ipe　yak　ora　petpes=an　pe　「起きて食事をしたら川を下って
起き　て　食事する　と　こんど　川を下る(私たち)　もの

ネ　クス　ネ　ナ”
ne　kusu ne　na”　行きますよ」
つもり　だ　よ

セコロ　ハウェアナン　ルウェ　ネ　アクス　オラ
sekor　hawean=an　ruwe　ne　akusu　ora　と言ったところ
と　言う(私)　の　だっ　たところ　こんど

ネ　オッカヨ　ホプニ　ヒネ　オラ
ne　okkayo　hopuni　hine　ora　その男は起きて
その　男性　起き　て　こんど

295 エネ　ハウェアニ。
ene　hawean _hi.　このように言いました。
このように言った

“ネウン　オッカヨ　ネ　ルウェ　ネ　ヤ
“neun　okkayo　ne　ruwe　ne　ya　「どこのどなたか
どんな　男性　な　の　だ　か

アエラミシカリ　ルウェ　ネ　コロカ
a=eramiskari　ruwe　ne　korka　わかりませんが
(私)わからない　の　だ　けれど

エネ　アオナハ　オモトホ
ene　a=onaha　omotoho　このように父の出自を
このように　(私の)父　の出自

イコウウェペケンヌ　ヤッカ
i=kouwepekennu　yakka　尋ねられても
(私に)尋ねて　も

300 アイェ　カ　アコエランペウテク　ワ
a=ye　ka　a=koerampewtek　wa　言うこともわからずに
(私)言う　も　(私)わからない　で

ネプ　カ　ソモ…
nep　ka　somo...　何も
何　も　ない

アイェ　カ　ソモ　キ　ア　コロカ…
a=ye　ka　somo ki　a　korka...　言いません
(私)言い　も　しなかっ　た　けれど

ネン　カ…　ルウェ　ネ”
nen　ka...　ruwe　ne”　でした」
誰　も　こと　である

セコロ　ハウェアン　コロ
sekor　hawean　kor　と言いました。そして
と　言い　ながら

305 “アオナハ　アナクネ　イシカラ　エトコホ[29]
“a=onaha　anakne　Iskar　etokoho　「父は石狩川の河口に
(私の)父　は　石狩川　の上流

アオナハ　アン　ネ…　ヒネ…ネ…
a=onaha　an　ne...　hine...　ne...　いて
(私の)父　い　て

アナン　ペ　ネ　アシンワ[30]
an=an　pe　ne　asinwa　私と暮らしていました。
暮らす(私)　もの　である　？

シネ　イポネ　プ　アネ　プ　ネ　クス
sine　ipone　p　a=ne　p　ne　kusu　私はひとり息子だったので
ひとり　息子であるもの　(私)である　の　だ　から

アオナ　ウタラ
a=ona　utar　父たちに
(私の)父　たち

310 ネプ　アエシリキラプテ　カ　ソモ　キ　ノ
nep　a=esirkirapte　ka　somo　ki　no　苦労をかけずに
何　(私)苦労し　も　しない　で

アリキキアン　ペ　ネ　クス
arikiki=an　pe　ne　kusu　私は働き者なので
働き者である(私)　もの　だ　から

シリキラプテ　アキ　カ　ソモ　キ　ノ
sirkirapte　a=ki　ka　somo ki　no　苦労をかけずに
苦労をさせる　(私)し　も　しない　で

アナン　ペ　ネ　ア　プ
an=an　pe　ne　a　p　暮らしていたのですが
いる(私)　もの　だっ　た　が

シネア[31]…　エキムネアン　アクス　オラノ
sinea...　ekimne=an　akusu　orano　ある時、山へ狩りに行くと
ある時　山猟に行く(私)　したところ　こんど

29　プトゥフ putuhu「河口」の言い間違い。
30　未詳。
31　シネ　アン　ト　タ sine an to ta「ある日」、またはシネ　アン　タ sine an ta「ある時」の言いさしか。

315 マク ネ ワ ネ ヤ
mak ne wa ne ya　どういうわけか
どう し て だ か

イロンネ レタラ ウララ イカカム[32] ワ
ironne retar urar i=kakamu wa　濃く白い霧が私をおおって
厚く 白い 霧 (私を)かぶさっ て

オラノ クンネ ヘネ トカプ ヘネ
orano kunne hene tokap hene　それからは夜も昼も
それから 夜 でも 昼 でも

アプカサナ アナ
apkas=an a an a　歩いて歩いて
歩く(私) さんざんした

ウサ オカイ ペ アエオコク コロ
usa okay pe a=eokok kor　いろいろなものにつまずいて
いろいろある もの (私)つまずき ながら

320 オマカテッテレケアン コロ
omakatetterke=an kor　転びながら
転ぶ(私) ながら

アプカシアナ アナ アイネ
apkas=an a an a ayne　歩いて歩いてそのあげくに
歩く(私) さんざんした あげく

タン スンク アコシレパ ルウェ ネ
tan sunku a=kosirepa ruwe ne　このエゾマツにたどり着いたのです。
この エゾマツ (私)着く の です

ヒネ オラ
hine ora　そして
そして こんど

タネ イペルスイアン カ キ
tane iperusuy=an ka ki　もう腹が空いて
もう お腹が空く(私) も する

325 シンキアン カ キ プ ネ クス
sinki=an ka ki p ne kusu　疲れてもいたので
疲れる(私) も する もの だ から

タン スンク チョロポク タ オリパカン。
tan sunku corpok ta oripak=an.　このエゾマツの下でかしこまっていました。
この エゾマツ の下 で かしこまる(私)

イウォロコロカムイ
‘iworkorkamuy　『狩場の神よ
狩り場の神

32　注 17 のシカカムレ sikakamure を男の目線で見た場合こう見えた、ということ。

アコオリパッコロ　ネ　コロカ
a=kooripakkor　ne　korka　恐れ多いことですが
(私)にかしこまる　だ　けれど

タネ　エネ　イキアニ　カ　イサム
tane　ene　iki=an _hi　ka　isam　もうこうするほかない
もう　こう　する(私)　こと　も　ない

330 ルウェ　ネ　クス
ruwe　ne　kusu　のです。
の　だ　から

カムイ　イエランポキウェン　ワ
kamuy　i=erampokiwen　wa　神様、私を憐れんで
神　(私を)憐れん　で

シㇰヌアン　ヤクン
siknu=an　yakun　生かしてくださったならば
生きる(私)　ならば

シㇰヌアン。
siknu=an.　生きられるのです。
生きる(私)

オラ　ライアン　ヤクン
ora　ray=an　yakun　私が死んだら
こんど　死ぬ(私)　ならば

335 イシカラ　プトゥフ　ウン　アオナハ
Iskar　putuhu　un　a=onaha　石狩川の河口の父
石狩川　の河口　の　(私の)父

レヘ　アイェ　ワ
rehe　a=ye　wa　の名を言いますので
の名前　(私)を言う　して

アオナハ　ノミ　カムイ　オロ　ワノ
a=onaha　nomi kamuy oro　wano　父が祭る神のもとへ
(私の)父　祭る　神　の所　から

テ　タ　ネ　イポネ　プ　ライ　ルウェ　ネ
te　ta　ne　ipone　p　ray　ruwe　ne　ここで息子が死んでいます
ここ　に　その　息子である　者　死ぬ　の　です

セコロ　アン　ペ　カムイ　オロ　ワ
sekor　an　pe　kamuy oro　wa　ということを神様から
と　いう　こと　神　の所　から

340 アスルコロ　ワ　イコレ　ヤㇰ　ピリカ　ナ
asurkor　wa i=kore　yak　pirka　na’　伝えて下さい』
伝言し　て　(私に)くれ　たら　いい　よ

セコロ　ハウェアナン　テㇰ
sekor　hawean=an　tek　と言うとすぐに
と　言う(私)　さっと

ネ… ホッケアン ア　プ オロワノ
ne... hotke=an a p orowano　眠りました。それから
その 寝る(私) だった が それから

ネン イキアン ルウェ ネ ヤ
nen iki=an ruwe ne ya　私はどうしていたのか
どう する(私) の だ か

アエラミシカリ ノ アナン イネ
a=eramiskari no an=an _hine　わからずにいて
(私)わからない で いる(私) して

345 イネ ヘンパク ト カ ホッケアン ワ
ine hempak to ka hotke=an wa　何日か眠って
何 日 も 寝る(私) して

モコラン ワ アナン アイネ… アクス
mokor=an wa an=an ayne akusu　いました。そうしていたところ
眠る(私) して いる(私) うちに したところ

カムイ メノコ イモソソ ヒネ
kamuy menoko i=mososo hine　女神に起こされて
神 女性 (私を)起こす して

モサン ルウェ ネ アクス
mos=an ruwe ne akusu　目を覚ますと
目覚める(私) の だっ たところ

オラ イサム タ も…
ora i=sam ta も ...　私の傍らに
こんど (私の)そば に

350 イタンキ ソナピ アン ワ
itanki sonapi an wa　山盛りのお椀が置かれていました。
お椀 山盛り あっ て

ネ ワ アン ペ アエ コロ アナン ペ ネ クス
ne wa an pe a=e kor an=an pe ne kusu　それを食べていたので
今言っているその もの (私)食べ ながら いる(私) もの だ から

イペルスイ アナクネ ソモ アキ ノ
iperusuy anakne somo a=ki no　お腹が空くこともなく
お腹が空くこと は ない (私)し て

アナン ルウェ ネ コロカ
an=an ruwe ne korka　いられました。けれど
いる(私) の だ けれど

ネプ カ ウェンカムイ
nep ka wenkamuy　何かの悪神が
何 も 悪い神

355 アコロ イタク ラマッ キシマ ワ アン ワ
a=kor itak ramat kisma wa an wa　私の言葉の魂をつかんでいて
(私)の 言葉 魂 をつかん で い て

ネア　イタク　カ　アエランペウテク。
nea　itak　ka　a=erampewtek.
その　言葉　も　(私)わからない
しゃべり方もわからなくなりました。

ネプ　カ　アエヤイコシラムスイパ[33]　ヤッカ
nep　ka　a=eyaykosiramsuypa　yakka
何　か　(私)考えをめぐらし　ても
何かをじっくり考えても

アオイラオイラ　ワ
a=oyraoyra　wa
(私)何度も忘れ　て
忘れてしまい

ネプ　カ　アエランペウテク　ノ
nep　ka　a=erampewtek　no
何　も　(私)わからず　に
何もわからなくなって

360 アナン　ルウェ　ネ　ア　プ
an=an　ruwe　ne　a　p
いる(私)　の　だっ　た　が
いたのですが

タネ　ポ　ネウン　ニシパ　ネ　ヤ
tane　po　neun　nispa　ne　ya
今初めて　どこの　旦那さん　だ　か
今やっとどこの旦那さんか

アエラミシカリ　ノ
a=eramiskari　no
(私)わからない　で
わかりませんが

ナア　イコオシコニ　クシケライポ
naa　i=kooskoni　kuskeraypo
まだ　(私を)追いかける　おかげで
私を探してくれたおかげで

イタク　ラマッ　カ　ネプ　カ
itak　ramat　ka　nep　ka
言葉　魂　も　何　も
言葉の魂も何もかも

365 ウェンカムイ　イコホシピレ　ワ　ネ　ノイネ
wenkamuy　i=kohosipire　wa　ne　noyne
悪い神　(私を)戻し　て　である　ようで
悪神が返してくれたようで

イタカン　エアシカイ”
itak=an　easkay”
話す(私)　ができる
しゃべることができます」

セコロ　ハウェアン　コロ　ネ　オッカイポ
sekor　hawean　kor　ne　okkaypo
と　言い　ながら　その　男性
とその男性が

ヌペ　トゥラ　イコエ…　ヤイレ…　ラプ[34]
nupe　tura　i=koe...　yayre...　rap
涙　とともに　(私に)話す
涙ながらに私に言う

33　エヤイコシラムスイパ e-yay-ko-si-ram-suypa ～について・自分・に対して・自分・心・～を何度も揺らす
34　言いよどんでいて正確には聞き取れない。

ルウェ　ネ　ヒ　クス
ruwe　ne　hi　kusu　　ので
の　です　だから

370 “トウナシ　イペ　イペ。
“tunas　ipe　ipe.　　「早くお食べなさい。
早く　食べろ　食べろ

オラ　アウニ　タ　シレパアン　ヤク　オラ
ora　a=uni　ta　sirepa=an　yak　ora　　家に着いてから
こんど　（私の）家　に　着く（私）　と　こんど

エアシリ　アプ…　ヌシンネノ　ウコイタカン
easir　ap...　nusimneno　ukoitak=an　　ゆっくり話を
そうして初めて　のんびり　互いに話す（私）

クス　ネ　ナ”
kusu ne　na”　　しましょう」
つもりだ　よ

セコロ　ハウェアナン　コロ
sekor　hawean=an　kor　　と言って
と　言う（私）　ながら

375 アシレン　ヒネ　イペオカアン　ヒ　オラ
a=siren　hine　ipeoka=an　hi　ora　　一緒に食事をしてから
（私）を連れる　して　食事を終える（私）　こと　そして

ナニ　テケ　アアニ　テク　ヒネ　オラ
nani　teke　a=ani　tek　hine　ora　　すぐに彼の手を取って
すぐ　の手　（私）持つ　さっと　して　こんど

ラナン　イネ
ran=an　_hine　　山を下りました。
下る（私）　して

ヌプリ　スットム　タ
nupuri　suttom　ta　　山すそに向かって
山　すそ　に

サナン　ヒネ　サパン　ヒネ
san=an　hine　sap=an　hine　　ずっと下りて
下る（私）　して　下る（私）　して

380 テケ　アアニ　カネ　ヒネ　サパン　ヒネ
teke　a=ani　kane　hine　sap=an　hine　　手を取って山を下りて行きました。
その手　（私）持ち　も　して　下る（私）　して

コタン…　イシカラ　エトコ　ウン　ニシパ
kotan...　Iskar　etoko　un　nispa　　石狩の上流にある村の旦那さん
村　石狩川　の上流　の　旦那さん

オロ　タ　ヘノイェアン　ヒネ
oro　ta　henoye=an　hine　　のところに立ち寄って
の所　に　寄る（私）　して

タプネ　タプネ　ネ　ヒ　アイェ　ワ　オラノ
tapne　tapne　ne　hi　a=ye　wa　orano　　このようなわけだと説明しました。
このようなわけ　である こと（私）言っ　て　こんど

ネ　イシカラ　エトコ　ウン　ニシパ　カ
ne　Iskar　etoko　un　nispa　ka　　するとその旦那さんは
その　石狩川　の上流　の　旦那さん　も

385 イヨクンヌレ　ネ　ヤ…　コロ
iyokunnure　ne　ya...　kor　　驚いて
驚く　だ　か　ながら

オロ　タ　シニアン　イペアン　イネ　オラ
oro　ta　sini=an　ipe=an　_hine　ora　　そこで休んで食事をしてから
そこ　で　休む（私）　食事をする（私）　して　こんど

“イシカラ　プトゥ　ウン　ニシパ
“Iskar　putu　un　nispa　　「石狩の河口の旦那さんが
石狩川　の河口　の　旦那さん

ポ　エポタラ　ヒ
po　epotara　hi　　子供を心配する気持ちに
子　を心配する　こと

ウネノ　ネ　クス
uneno　ne　kusu　　変わりはないのだから
同じ　だ　から

390 トゥナシノ　エチホシッパ　ヤク　ピリカ　ピリカ”
tunasno　eci=hosippa　yak　pirka　pirka”　　急いであなたたちは帰りなさい」
急いで　（お前達）戻る　と　良い　良い

セコロ　ネ　コタン…　ネ　ニシパ　イェ　ワ
sekor　ne　kotan...　ne　nispa　ye　wa　　とその旦那さんは言うので
と　その　村　その　旦那さん　言っ　て

オラ　シニアン　カ　キ　イペアン　カ　キ
ora　sini=an　ka　ki　ipe=an　ka　ki　　休んで食事をしてから
こんど　休む（私）　も　し　食事する（私）　も　し

オラノ　スイ　サパン　ヒネ
orano　suy　sap=an　hine　　また川を下って行きました。
それから　また　下る（私）　して

オラ　ネ　アウニ　タ　カ
ora　ne　a=uni　ta　ka　　私の家にも
こんど　その　（私の）家　に　も

395 ヘノイェアン　カ　ソモ　キ　ノ
henoye=an　ka　somo　ki　no　　寄らずに[35]
寄る（私）　も　しない　で

35　主人公の村は石狩川の中流域にあるので、川筋を下って行くと河口にある連れの男性の家に行くには必然的に主人公の村を通ることになる。しかしこの男性の両親の心配する気持ちを考えて、自分の家には寄らずに急いで川を下って行ったということ。

サパン　ヒネ
sap=an　hine　　川を下って行って
下る(私)　して

ネ　イシカラ　プトゥ　タ　サパン　ヒネ
ne　Iskar　putu　ta　sap=an　hine　　石狩川の河口に下って行って
その　石狩川　の河口　に　下る(私)　して

ナニ　コタンコンニシパ　ネ　クス…
nani　kotankonnispa　ne　kusu...　　すぐに村おさなので…
すぐ　村長　だ　から

ネ　オッカイポ　テケ　アアニ　カネ　ヒネ
ne　okkaypo　teke　a=ani　kane　hine　　男性の手を取って
その　若い男性　の手　(私)を持ち　も　して

400 アフナン　ルウェ　ネ　アクス
ahun=an　ruwe　ne　akusu　　家に入って行きました。
入る(私)　の　だっ　たところ

ネ　オンネ　ウタラ
ne　onne　utar　　その家の老人たちは
その　老人　たち

ウサメロク　ヒネ　オカ　ヒネ
usamerok　hine　oka　hine　　ふたり並んで座っていて
並んで座っ　て　い　て

イコホサリ　イエラムトゥイ　カ　キ　ヒネ
i=kohosari　i=eramutuy　ka　ki　hine　　こちらを見ると驚いて
(私に)向く　(私に)驚き　も　し　て

“アポホ　ソモ　ネ”
“a=poho　somo ne”　　「息子ではないか」
(私の)息子　ではない

405 セコン　ネ　ヒ　クス
sekor_　ne　hi　kusu　　と言うので
と　言う　ので

“エポホ　ネ　ルウェ　ネ”
“e=poho　ne　ruwe　ne”　　「あなたの息子さんです」
(お前の)息子　な　の　です

セコロ　ハウェアナン。
sekor　hawean=an.　　と私が答えました。そして
と　言う(私)

“アシヌマ　アナクネ　イシカラ　エトコ[36]　ウン
“asinuma　anakne　Iskar　etoko　un　　「私は石狩川の中流の
私　は　石狩川　の上流　の

36　イシカラ　ホントム Iskar hontom（石狩川の中流）の言い間違い。

イポネ　プ　アネ”
ipone　p　a=ne”　　息子です」
息子である　もの　(私)である

セコロ　ハウェアナン　ルウェ　ネ　アクス
sekor　hawean=an　ruwe　ne　akusu　　と言ったところ
と　言う(私)　の　だっ　たところ

ウコパラパラクパ　コロ
ukoparaparakpa　kor　　みんな泣きながら
互いに泣き　ながら

アトゥイ　カ　カマ　ヘ　テレケ　ヘ　キパ　ヒネ
atuy　ka　kama　he　terke　he　kipa　hine　　海をも越えんばかりに跳んで来て
海　上　をまたぐ　か　跳ねる　か　し　て

ポホ　コテッテレケパ　ワ　オラノ
poho　kotetterkepa　wa　orano　　息子のところに駆け寄り
息子　に駆け寄っ　て　こんど

オロ　タ　ウコパラパラクパ　コロ
oro　ta　ukoparaparakpa　kor　　みんな涙を流しながら
そこ　で　互いに泣き　ながら

ポホ　エトゥン　テム…　クンネレパ[37]
poho　etun　tem...　kunnerepa　　息子と２人で抱き合った
息子　でふたり

ルウェ　ネ　ヒ　クス　オラ
ruwe　ne　hi　kusu　ora　　のでした。
の　です　だから　こんど

タプネ　カネ　ネ　ワ　アイェ
tapne　kane　ne　wa　a=ye　　私がこれまでのことを説明し
こういうわけ　だ　と　(私)言う

ウェンタラプ　オルシペ　ネ　ヤ
wentarap　oruspe　ne　ya　　夢に見た話も
夢を見る　話　だ　か

アイェ　プ　ネ　クス　オラノ
a=ye　p　ne　kusu　orano　　したので
(私)言う　の　だ　から　こんど

ネ　オンネクル　カ
ne　onnekur　ka　　年寄りたちも
その　老人　も

イコヤイライケ　ヒ　ネ　ヤ　キ　コロ
i=koyayrayke　hi　ne　ya　ki　kor　　私に感謝の言葉を言いました。
(私に)感謝する　こと　だ　とか　し　ながら

37　未詳。

オラ　コタン　コロ　ウタラ　カ　ウウェカラパ　ワ
ora　kotan　kor　utar　ka　uwekarpa　wa　そして村人たちも集まって来て
こんど　村　の　人たち　も　集まっ　て

オラノ　ウコパラパラクパ　コロ
orano　ukoparaparakpa　kor　みんな涙を流しながら
それから　互いに大泣きする　ながら

ナニ　ネア　オッカイポ　アエウォンネレ　ネ　ヤ
nani　nea　okkaypo　a=ewonnere　ne　ya　すぐその男の顔を洗ったり
すぐに　その　若い男性　(私)顔を洗わせる　だ　とか

425 ミ　プ　アタサレ　ネ　ヤ　キ　アクス
mi　p　a=tasare　ne　ya　ki　akusu　着替えをさせたりしたところ
着る　物　(私)着替えさせる　だ　とか　し　たところ

ピリカ　オッカイポ　ネ　ルウェ
pirka　okkaypo　ne　ruwe　美しい青年だったことに
良い　若い男性　だ　こと

アオクンヌレ　カ　キ　コロ　アナン　イネ
a=okunnure　ka　ki　kor　an=an　_hine　私は驚きました。
(私)驚く　も　し　ながら　いる(私)　して

シネ　アンチカラ　アコレウシパ　ワ
sine　ancikar　a=korewsipa　wa　一晩そこに泊まって
ひと　晩　(私)泊っ　て

ウコイタクパ　ハウ　アヌ　コン　ネ　コロカ　オラ
ukoitakpa　haw　a=nu　kor_　ne　korka　ora　みなが話すのを聞いたのですが
互いに話す　声　(私)聞き　ながら　だ　けれど　こんど

430 “アオナ　カ　イエポタラ　クス
“a=ona　ka　i=epotara　kusu　「父も心配しているので
(私の)父　も　(私)心配する　ので

ホシピアン　クス　ネ”
hosipi=an　kusu ne”　帰ります」
帰る(私)　します

セコロ　ハウェアナン　コロ
sekor　hawean=an　kor　と私は言って
と　言う(私)　ながら

シネ　アンチカラ　アコレウシパ　ヒネ
sine　ancikar　a=korewsipa　hine　一晩泊まって
ひと　晩　(私)泊っ　て

オラ　エカニネ
ora　ek=an _hine　帰って来ました。
こんど　来る(私)　して

435 アウニ　タ　エカニネ
a=uni　ta　ek=an _hine　家に帰って来て
(私の)家　に　来る(私)　して

アオナ　エウン　タプネ　タプネ　ネ　ヒ
a=ona　eun　tapne　tapne　ne　hi　　父にこのようなわけだと
(私の)父　へ　このようなわけ　だ　こと

アイェ　アクス　オラノ
a=ye　akusu　orano　　話すと
(私)言っ　たところ　それから

アオナハ　イコプンテカ　イコプンテカ
a=onaha　ikopuntek a　ikopuntek a　　父はたいそう喜びました。
(私の)父　何度も喜ぶ

“エカシカムイェ　ピリカ
“e=kaskamuye　pirka　　「おまえの憑き神が良く
(お前の)憑き神　良い

440 エケウトゥム　ピリカ　ワクス
e=kewtumu　pirka　wakusu　　おまえの心が美しいので
(お前の)心　良い　だから

カムイ　チカシヌカラ　エキ　ワ　クス
kamuy　cikasnukar　e=ki　wa kusu　　神が守ってくれたのだ。
神　から守られる　(お前)した　からこそ

イシカラ　エトコ[38]　ウン　シネ　ポ　タクプ
Iskar　etoko　un　sine　po　takup　　石狩川の河口のたったひとりの
石狩川　の上流　の　ひとり　息子　だけ

コロ　サンテケヘ　エパ　ワ
kor　santekehe　e=pa　wa　　後継ぎをおまえが見つけて
の　子孫　(お前)見つけ　て

エトゥラ　ワ　エエク　ハウェ…
e=tura　wa e=ek　hawe...　　連れて来た…
(お前)連れ　て　(お前)来る　話

445 エトゥ ラ　ワ　エエク　ヒ　ネ　ヤクン
e=tura　wa e=ek　hi　ne　yakun　　というのなら
(お前)連れ　て　(お前)来る　の　であれ　ば

ソンノ　シアスルアシテ　エネ　ルウェ　ネ”
sonno　siasur'aste　e=ne　ruwe　ne”　　本当におまえは自慢の息子だ」
本当に　名高い　(お前)である　こと　だ

セコロ　アオナハ　ハウェアン　コロ
sekor　a=onaha　hawean　kor　　と父が言って
と　(私の)父　言う　ながら

エアラキンネ　イコプンテカ　イコプンテカ
earkinne　ikopuntek a　ikopuntek a　　たいそう喜んで
本当に　何度も喜んだ

38　プトゥフ putuhu「河口」の言い間違い。

ルウェ　ネ　ヒネ
ruwe　ne　hine　　いました。
の　であっ　て

450 オラノ　ネ　エアンチカラ　スイ
orano　ne eancikar　suy　　そしてその夜はまた
そして　その 夜　また

シンキアン　ワ　ホッケアン　ルウェ　ネ　アクス
sinki=an　wa hotke=an　ruwe　ne　akusu　　疲れたので眠ったところ
疲れる（私）　して 寝る（私）　の　だっ　たところ

ウェンタラプアン　ルウェ　ネ　アクス
wentarap=an　ruwe　ne　akusu　　夢を見ました。
夢を見る（私）　の　だっ　たところ

クンネ　コソンテ　ウトムチウレ
kunne　kosonte　utomciwre　　黒い上等な着物をまとって
黒い　上等な着物　を身につける

クンネ　チパヌプ　エパウヌ　カネ　アン[39]　メノコ
kunne　cipanup　epaunu　kane an　menoko　　黒いかぶり物をした女性が
黒い　かぶり物　を頭につけ　て　いる　女性

455 イサム　タ　アニネ
i=sam　ta　an _hine　　私のそばにいて
（私の）そば に　い　て

イエホシノ　アン　ヒネ
i=ehosino　an　hine　　私に背を向けて
（私に）背を向けて　い　て

トイコヘプトウトゥ　ヒネ　アン　ヒネ　オラ
toykohepututu　hine　an　hine　ora　　ひどくふくれっ面をしていて
ひどくふくれっ面をし　て　い　て　こんど

エネ　ハウェアニ。
ene　hawean _hi.　　このように言いました。
このように言った

“ニ…　カムイ　オッ　タ　カ　アン
“ ni...　kamuy or_　ta ka　an　　「神の国でも
神　の所　に　も　いる

460 アイヌ　オッ　タ　カ　アン
aynu　or_　ta　ka an　　人間の国でも
人間　の所　に　も　いる

イウォロ　オッ　タ　カ　アン　ペ
iwor　or_　ta　ka an　pe　　山にいるものでも
狩り場　の所　に　も　いる　もの

39　エゾマツの神と同じ装束で現れているが、こちらはケソラプの神である。ケソラプはこの物語中では悪神として描かれているが、力の強い神であることは間違いない。偉い神同士、双方の神の装束が同じ表現になったのであろう。

タン　ウコ…　何ったべ？　アン　ペ…
tan　uko...　何ったべ？　an　pe...

ウコヤイカッカラ　ペ　ネ　ワクス
ukoyaykatkar　pe　ne　wakusu　みんな恋をするというのに
互いに恋をする　もの　だ　から

アシヌマ　ケソラプ　アネ　ワ
asinuma　kesorap　a=ne　wa　この私、ケソラプ鳥が
私　ケソラプ　(私)であっ　て

465 カムイ　オルン　インカラン　コロ
kamuy　or　un　inkar=an　kor　神の国を見渡しても
神　の所　で　見る(私)　ながら

アヤイコトムカ　プ　カ　イサム。
a=yaykotomka　p　ka　isam.　私にふさわしい者はいません。
(私)ふさわしい　者　も　いない

アイヌ　オルン　インカラ　コン
aynu　or　un　inkar　kor_　人間の国を見ると
人間　の所　で　見る　と

タン　オッカイポ　パテク
tan　okkaypo　patek　この若者だけが目に止まり
この　若い男性　だけ

アコオンルプシ　ワ　クス　エク　ウウェイ…
a=koonrupus　wa kusu　ek　uwei...　どうしても欲しくなり
(私)非常に欲しがる　だから　来る

470 アシコイワクテ　ルウェ　ネ。
a=sikoiwakte　ruwe　ne.　おびき寄せたのです。
(私)来させる　こと　である

タヌクラン　アナクネ　アウク　フミ
tan ukuran　anakne　a=uk　humi　今夜こそは魂を奪ってやろうと
今　夜　は　(私)奪う　感じ

クナク　アラム　コロ　エカン　アクス
kunak　a=ramu　kor　ek=an　akusu　思ってやって来たところ
と　(私)思い　ながら　来る(私)　したところ

ヒナク　ワ　カ
hinak　wa　ka　どこからか
どこ　から　か

エエラムアン　ワ　エエク　ワ
e=eramuan　wa　e=ek　wa　おまえがそれと知ってやって来て
(お前)わかっ　て　(お前)来　て

475 オラ　イシリコチョッチャ　ルウェ
ora　i=sirkocotca　ruwe　私をズブリと射たのでした。
こんど　(私を)ひどく射る　こと

ネ ア コロカ トゥアイオアイ アニ
ne a korka tuay'oay ani
だっ た けれど 特別な毒矢 で
でも、特別な毒矢で

アチョッチャ プ アナクネ
a=cotca p anakne
(人)射る もの は
射られた者は

イマカケ オシライェ カ
imakake osiraye ka
その後ろ にそらす も
矢を後ろにそらすことが

エアイカッ ペ ネ プ ウン。
eaykap pe ne p un.
ができない もの な の だ
できないものなのです。

480 イキアン アイネ
iki=an ayne
する(私) したあげく
私は矢を受けても

ライアン アナク ソモ キ コロカ
ray=an anak somo ki korka
死ぬ(私) は しない けれど
不死身ですが

ネ アイ オムッテッ カネ
ne ay omuttek kane
その 矢 をつがえる して
その矢をつがえて

イシリコチョッチャ プ ネ クス
i=sirkocotca p ne kusu
(私を)ひどく射る もの だ から
私をズブリと射たので

ネ アイ アエタイェ コヤイクス ワ
ne ay a=etaye koyaykus wa
その 矢 (私)引き抜く ことができなく て
その矢を引き抜くことができず

485 オラノ ネン ネン アカラ アイネ アエタイェ。
orano nen nen a=kar ayne a=etaye.
それから どうにか (私)する あげく (私)引き抜く
手を尽くしてようやく引き抜きました。

イユニン ヤイコトゥヤシアン コロ
iyunin yaykotuyasi=an kor
痛み 自分は安心だ(私) と
痛みはもう心配ありませんし

ネ アイ エタイェ ルウェ ネ ア コロカ
ne ay etaye ruwe ne a korka
その 矢 を引き抜く こと だっ た けれど
矢も抜けたのですが

ネ オッカイポ エネ アコオンルプシ ペ
ne okkaypo ene a=koonrupus pe
その 若い男性 こうも (私)非常に欲しがる もの
その人間の若者がどうしても欲しいのです。

アイヌ オッカイポ ネ アクス
aynu okkaypo ne akusu
人間 若い男性 だっ たところ
そこで

490 スクプ ホントム タ アウㇰ ワ
sukup hontom ta a=uk wa
育つ 半ば で (私)奪っ て
人生の半ばで私が魂を奪って

カムイ オッ タ
kamuy or_ ta
神 の所 で
神の国で

シンノ ウコㇺ シンノ ウコㇺ[40]
sinno ukor sinno ukor
本当の 結婚 本当の 結婚
本当の結婚を

アキ クス ネ ナ。
a=ki kusu ne na.
(私)し ます よ
するつもりです。

スクプ ホントム オマ[41] パㇰノ
sukup hontom oma pakno
育つ 半ば に入る まで
それまで

495 オナ ウタリ カシオイキパ ヤㇰ ピㇼカ ナ”
ona utari kasioykipa yak pirka na”
父 たち を養う と いい よ
父たちを養っていたらいいでしょう」

セコㇺ アン… ネ メノコ
sekor an... ne menoko
と いう その 女性
と、その女性が

ハウェアン ヤㇰ アタカㇲ ヒ クス
hawean yak a=takar hi kusu
言う と (私)夢に見る だから
言う夢を見たので

“ソモ アンペ ネ”
“somo anpe ne”
ない 本当のこと である
「そんなばかな」

セコㇺ ハウェアナン コㇺ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら
と言って

500 マッコサヌアン フミ ネ テッ コㇺ
makkosanu=an humi ne tek kor
パッと起きる(私) 感じ だ さっと ながら
パッと飛び起きたかと

ヤイヌアン アクス
yaynu=an akusu
思う(私) したところ
思うと

ネ メノコ カ ネㇷ゚ カ イサム
ne menoko ka nep ka isam
その 女性 も 何 も いない
その女性は影も形もありませんでした。

---

40 シンノ　ウコㇺ sinno ukor 本当の・結婚。なぜ２回重ねて言っているのかは不明。

41 マッ mat にも聞こえるが未詳。

ルウェ　ネ　アクス　アオナハ
ruwe　ne　akusu　a=onaha　父が
こと　だっ　たところ　(私の)父

“マク　ネ　ルウェ　ネ　ヤ?”
“mak　ne　ruwe　ne　ya?”　「一体どうしたのだ」と
どうした　の　だ　か

505 セコロ　イウコウウェペケンヌ　イ　クス
sekor　i=ukouwepekennu　_hi　kusu　私に尋ねるので
と　(私に)尋ねる　ので

タプネ　カネ　ウェンタラプアン
tapne　kane　wentarap=an　こんな夢を見た
こういう　夢を見る(私)

ルウェ　ネ　ヤ　アイェ　アクス　オラノ
ruwe　ne　ya　a=ye　akusu　orano　のですと言うと
の　だ　とか　(私)言っ　たところ　こんど

アオナハ　パシロタ　ア　パシロタ　ア
a=onaha　pasrota　a　pasrota　a　父はケソラプ鳥をさんざんにののしりました。
(私の)父　何度もののしる

エチウッカウン??[42]
eciukkaun??

510 “ハウェ　ネ　ヤクン
“hawe　ne　yakun　「それならば
そういうこと　ならば

イシカラ　プトゥ　タ　サプアン　ワ
Iskar　putu　ta　sap=an　wa　石狩川の河口に下って行って
石狩川　の河口　に　下る(私)　して

カムイ　オルン　アエイヨンヌッパ　クス　ネ”
kamuy　or　un　a=eiyonnuppa　kusu　ne”　神に告げ口をしてやる」
神　の所　に　(私)告げ口する　つもりだ

セコン　ネ　ヒネ　オラノ
sekor_　ne　hine　orano　と言って
と　いっ　て　こんど

アコタヌ　ウン　ウタラ
a=kotanu　un　utar　村の
(私の)村　の　人たち

515 シイタッコロ　ウタラ　アシレン　ヒネ　オラ
siitakkor　utar　a=siren　hine　ora　雄弁な者たちを引き連れて
本当に雄弁な　人たち　(私)を連れる　して　こんど

サパン　ヒネ
sap=an　hine　川を下って行きました。
下る(私)　して

42　未詳。

イシカラ　プトゥフ　タ　サパン　ヒネ
Iskar　putuhu　ta　sap=an hine　石狩川の河口に行って
石狩川　の河口　に　下る(私)　して

タプネ　タプネ　ネ　ヒ　アイェ　アクス　オラノ
tapne　tapne　ne　hi　a=ye　akusu　orano　このようなわけだと言ったところ
このようなわけ　だ　こと　(私)言っ　たところ　こんど

イシカラ　プトゥ　ウン　ニシパ　ネ　ヤッカ
Iskar　putu　un　nispa　ne　yakka　石狩川の河口の旦那さんも
石狩川　の河口　の　長者　であっても

520 パシロタ　ア　パシロタ　アイネ
pasrota　a　pasrota　ayne　ケソラプ鳥をさんざんにののしって
何度もののしっ　たあげく

“ヤクン　ネノ　ネイ　パクノ
“yakun　neno　ney　pakno　「では相変わらずいつまでも
ならば　そのように　いつ　までも

ネ　ケソラプ　ネ　ワ　ネ　オッカイポ
ne　kesorap　ne　wa　ne　okkaypo　そのケソラプ鳥が若者に
その　ケソラプ　であっ　て　その　若い男性

カテカラ　ワ　ウク　ワ　ネ　ヤクン
katekar　wa　uk　wa　ne　yakun　惚れて魂を奪ってやるというなら
に惚れ　て　奪っ　て　である　なら

アッテイネモシリ
atteynemosir　地下の冥府に
地下の冥府

525 オナ　トゥラ　ウヌ　トゥラ　アッテイネモシリ
ona　tura　unu　tura　atteynemosir　父神や母神と一緒に
父　と一緒に　母　と一緒に　地下の冥府

アシリコオテレケ　クス　ネ”
a=sirkooterke　kusu ne”　けり落としてやるからな」
(私)けり落とす　つもり　だ

セコロ　アン　ペ
sekor　an　pe　と
と　いう　こと

アオナ　ウタラ　ハウェオカパ　コロ　オカ。
a=ona　utar　haweokapa　kor　oka.　父たちが口々に言いました。
(私の)父　たち　言い　ながら　いる

ネ　ケソラプ　オルン　パテク　ソモ　キ　ノ
ne　kesorap　or　un　patek　somo ki　no　そのケソラプ鳥のところばかりでなく
その　ケソラプ　の所　に　ばかり　しない　で

530 カムイ　オピッタ　エウン　イヨンヌッパパ
kamuy　opitta　eun　iyonnuppapa　神々みんなに告げ口をしました。
神　みんな　へ　告げ口をする

インネ　パウェトㇰ　ウタㇲ　パテㇰ
inne　pawetok　utar　patek　大勢雄弁な者たちが
大勢の　雄弁な　人たち　ばかり

オカイ　ペ　ネ　クス
okay　pe　ne　kusu　そろっているので
いる　もの　だ　から

カムイ　オルン　イヨンヌッパ　ロㇰ　ヒネ　オラ
kamuy　or　un　iyonnuppa　rok　hine　ora　皆で神に告げ口をして
神　の所　に　告げ口をし　た　そして　こんど

オカケ　アン　ヒ　オラ
okake　an　hi　ora　その後で
その後　ある　こと　そして

535 ホッケアン　ルウェ　ネ　アクス
hotke=an　ruwe　ne　akusu　眠ると
寝る(私)　の　だっ　たところ

スイ　ウェンタラパン　ルウェ　ネ　アクス
suy　wentarap=an　ruwe　ne　akusu　また私は夢を見ました。
また　夢を見る(私)　こと　だっ　たところ

スイ　ネア　メノコ　イサㇺ　タ　アン　ヒネ
suy　nea　menoko　i=sam　ta　an　hine　またあの女性が私のそばにいて
また　その　女性　(私の)そば　に　いる　して

エネ　ハウェアニ。
ene　hawean　_hi.　このように言いました。
このように言った

“タネ　アナㇰネ　ネウン　ネ　ヤッカ
“tane　anakne　neun　ne　yakka　「もうどうやっても
今　は　どう　であっても

540 ネ　アイヌ　オッカイポ　アウㇰ　カ　エアイカプ　ノ
ne　aynu　okkaypo　a=uk　ka　eaykap　no　あの人間の若者を奪うことはできない上に
その　人間　若い男性　(私)奪い　も　できない　で

カムイ　ウタㇲ　ウウェカㇲパ　ワ　オラノ
kamuy　utar　uwekarpa　wa　orano　神々が集まって
神　たち　集まっ　て　こんど

アイコパシロタ　アイウコキッキㇰ。
a=i=kopasrota　a=i=ukokikkik.　私をののしり私を叩きました。
(人が私を)ののしる　(人が私を)皆で叩く

アオナハ　ポ　ヘネ
a=onaha　po　hene　中でも父は
(私の)父　なおさら

イトイコキッキㇰ　コㇺ
i=toykokikkik　kor　私をひどく叩いて
(私を)ひどく叩く　ながら

545 イコパシロタ ア イコパシロタ ア
i=kopasrota a i=kopasrota a
(私を)何度もののしる
何度もののしり

アッテイネモシリ イコオテレケ クナㇰ イェ コロ
atteynemosir i=kooterke kunak ye kor
地下の冥府 (私を)けり落とす と 言い ながら
地下の冥府にけり落としてやると言って

アオナハ ポ ヘネ
a=onaha po hene
(私の)父 なおさら
父はなおいっそう

イコパシロタ ア イコパシロタ ア
i=kopasrota a i=kopasrota a
(私を)何度もののしる
私を叱りました。

ルウェ ネ クス
ruwe ne kusu
の だ から
なので

550 タネ アナㇰネ エネ アコン ルスイ ペ
tane anakne ene a=kor_ rusuy pe
今 は このように (私)持ち たい もの
あんなに欲しかった

アイヌ オッカイポ ネ ア コロカ
aynu okkaypo ne a korka
人間 若い男性 だっ た けれど
人間の男性でしたが

タネ アヤイラミカラ[43] ワ
tane a=yayramikar wa
もう (私)あきらめる して
今はもうあきらめて

クス ネ ナ… ワ…
kusu ne na... wa...
つもりだ よ して

ヤイカタ カ カムイ オッ タ
yaykata ka kamuy or_ ta
自分 も 神 の所 で
自分も神の国で

555 アヤイラメコテ オッカヨ
a=yayramekote okkayo
(私)思いを寄せる 男性
私が思いを寄せる男性と

トゥラノ アナン クス ネ ナ。
turano an=an kusu ne na.
と一緒に 暮らす(私) つもり だ よ
結婚するつもりです。

アイヌ オッカイポ カ アイヌ メノコ
aynu okkaypo ka aynu menoko
人間 若い男性 も 人間 女性
人間の若者も人間の女性と

43 ヤイラミカラ yayramikar という語は未見。ヤイラムキッカラ yayramkikkar「あきらめる」と言おうとしたものか。

トゥラノ　オカ　ヤク　ピリカ　ナ”
turano　oka　yak　pirka　na”　結婚したらいいのです」
と一緒に　暮らす　と　いい　よ

セコロ　アン　ウェンタラプ
sekor　an　wentarap　という夢を
と　いう　夢を見ること

560 スイ　アキ　ルウェ　ネ　ヒネ
suy　a=ki　ruwe　ne　hine　また見たので
また　(私)する　の　であっ　て

アイェ　ルウェ　ネ　アクス
a=ye　ruwe　ne　akusu　それを(父たちに)言うと
(私)を言う　こと　だっ　たところ

オカ　ウタラ　カ　ウェンタラプ　ルウェ　ネ
oka　utar　ka　wentarap　ruwe　ne　そこにいた人たちも夢を見た
いる　人たち　も　夢を見る　こと　である

ヤク　イェパ　コロ　オラノ
yak　yepa　kor　orano　と口々に言って
と　言い　ながら　こんど

パシロタ　カ　キパ　ヒ　オラ　エアシリ
pasrota　ka　kipa　hi　ora　easir　ののしりました。
ののしり　も　し　てから　初めて

565 サケ　アカラ　カ　キ　ヒネ　オラ
sake　a=kar　ka　ki　hine　ora　私たちは酒をつくって
酒　(私)作り　も　し　て　から

ネ　スンク　トノ　マッ　エウン
ne　sunku　tono　mat　eun　あのエゾマツの神の奥方のところへ
その　エゾマツ　神　妻　へ

インネ　ウタラ　アネ　ヒネ　パイェアン　ヒネ
inne　utar　a=ne　hine　paye=an　hine　大勢で行って
大勢の　人たち　(私達)になっ　て　行く(私)　して

ネ　スンク　トノ　マッ　オロ　タ
ne　sunku　tono　mat　oro　ta　あのエゾマツの神の奥方のところへ
その　エゾマツ　神　妻　の所　に

パイェアン　ワ　オラノ
paye=an　wa　orano　行って
行く(私)　して　それから

570 アオナ　ウタラ　ホリピ[44]　トゥラ
a=ona　utar　horipi　tura　父たちは踊りながら
(私の)父　たち　踊り　とともに

44　神に祈る際に踊りの所作を伴うことがある。

カムイコヤイライケ　ヒ
kamuykoyayrayke　_hi　　神に感謝の言葉を
神に感謝する　こと

イェ　ロク　イェ　ロクパ　コロ
ye　rok　ye　rokpa　kor　　何度も言いました。
何度も言い　ながら

イナウ　ネ　ヤッカ　ポロンノ
inaw　ne　yakka　poronno　　木幣もたくさん
木幣　であっても　たくさん

アセ　ワ　パイェアン　ペ　ネ　クス
a=se　wa　paye=an　pe　ne　kusu　　持って行ったので
(私)背負って　行く(私)　もの　だ　から

575 ニテケヘ　ワノ　トゥママハ　ネ　ヤ
nitekehe　wano　tumamaha　ne　ya　　木の枝から幹まで
木の枝　から　木の幹　だ　とか

イナウコタクタク[45]　ワ…　ルウェ　ネ　ヒネ
inawkotaktaku　wa　ruwe　ne　hine　　木幣をつけて
木幣をつけ　して　こと　であって

オラノ　スンク　カムイ　パテク　ソモ　キ　ノ
orano　sunku　kamuy　patek　somo　ki　no　　それからエゾマツの神ばかりでなく
そして　エゾマツ　神　ばかり　しない　で

イウォロコロカムイ　ネ　ヤッカ
iworkorkamuy　ne　yakka　　狩場の神や
狩り場の神　であっても

カムイ　オピッタ　アウコノミ　シリ　ネ
kamuy　opitta　a=ukonomi　siri　ne　　神様みんなに祈ります
神　みんな　(私)に皆で祈る　様子　である

580 ヤク　アイェ　コロ
yak　a=ye　kor　　と言って
と　(私)言い　ながら

オロ　タ　カムイノミアン　ネ　ヤ
oro　ta　kamuynomi=an　ne　ya　　そこで祈りの儀式をし
そこ　で　神に祈る(私)　だ　とか

ウサ　シラリ　ネ　ヤッカ　サケ　ネ　ヤッカ
usa　sirari　ne　yakka　sake　ne　yakka　　酒粕も酒も
いろいろ酒粕　で　も　酒　で　も

アチャラパ[46]。
a=carpa.　　まきました。
(私)をまく

45　神へ捧げるイナウ inaw「木幣」をエゾマツの木のそこかしこにつけたということ。こうすることで神は神格をますます高めることになる。

46　神への供物。神が最も喜ぶとされるもののひとつ。祈りながらまくという行為により神に届くとされる。

スンク　トノ　マッ　アコヤイライケ。
sunku　tono　mat　a=koyayrayke.　エゾマツの神の奥方に感謝しました。
エゾマツ　神　妻　(私)に感謝をする

585 アン　クシ　ケライポ
an　kus　keraypo　そのおかげで
ある　おかげで

イシカラ　エトコ[47]　ウン　イポネ　プ
Iskar　etoko　un　ipone　p　石狩川の河口の息子が
石狩川　の上流　の　息子である　者

アシクヌレ　プ　ネ　クス
a=siknure　p　ne　kusu　生きられたので
(私)生かす　の　だ　から

ネ　スンク　トノ　マッ　アコヤイライケ　ヒ
ne　sunku　tono　mat　a=koyayrayke　hi　そのエゾマツの神の奥方に感謝をしますと
その　エゾマツ　神　妻　(私)感謝をする　こと

ヤイカタ　カ　アイェ。　アオナ　ウタリ　カ
yaykata　ka　a=ye.　a=ona　utari　ka　私自身も祈り、父たちも
自分で　も　(私)言う　(私の)父　たち　も

590 イェ　ロク　イェ　ロクパ　ヒネ　オラ　ホシッパアン。
ye　rok　ye　rokpa　hine　ora　hosippa=an.　何度も祈ってから帰って来ました。
を何度も言っ　て　こんど　帰る(私)

イシカラ　エトコ[48]　ウン　ニシパ　ネ　ヤッカ
Iskar　etoko　un　nispa　ne　yakka　石狩川の河口の旦那さんも
石狩川　の上流　の　長者　で　も

イトゥラ　カネ　ワ
i=tura　kane　wa　一緒に行きました。
(私を)連れ　も　して

ヤイライケアン　ヒ
yayrayke=an　hi　感謝を伝えに
感謝する(私)　こと

スンク　トノ　マッ　オルン
sunku　tono　mat　or　un　エゾマツの神の奥方のところに
エゾマツ　神　妻　の所　に

595 インネ　ウタラ　ネ　パイェアン　ヒネ　オラノ
inne　utar　ne　paye=an　hine　orano　大勢で行って
大勢の　人たち　で　行く(私)　して　こんど

ホシッパアン　ヒ　オラノ　アナクネ
hosippa=an　hi　orano　anakne　帰って来てからは
帰る(私)　してから　は

47　プトゥフ putuhu「河口」の言い間違い。
48　プトゥフ putuhu「河口」の言い間違い。

ネプ　アエラナッ　カ　ソモ　キ　ノ
nep　a=eranak　ka　somo ki　no
何　(私)困る　も　しない　で
何を困ることもなく

オカアン　アイネ
oka=an　ayne
暮らす(私)　したあげく
暮らしました。

ネ　イシカラ　プトゥ　ウン　オッカヨ　ネ　ヤッカ
ne　Iskar　putu　un　okkayo　ne　yakka
その　石狩川　の河口　の　男性　で　も
その石狩川の河口の男性も

600 ピリカ　メノコ　オラ　エアシリ　エトゥン。
pirka　menoko ora　easir　etun.
良い　女性　そして　初めて　で結婚する
やがて美しい女性と結婚しました。

ヤイカタ　カ　メノコ　アエトゥン　ワ
yaykata　ka　menoko　a=etun　wa
自分　も　女性　(私)で結婚する　して
自分も女性と結婚して

オカアン　ラポッケ
oka=an　rapokke
暮らす(私)　そのうちに
そのうちに

アオナ　ウタラ　カ　コシマッ　カ　ヌカラパ
a=ona　utar　ka　kosmat　ka　nukarpa
(私の)父　たち　も　嫁　も　見る
父たちも嫁を見て

ポ　カ　ヌカラパ　ヒ　オラ　オンネ。
po　ka　nukarpa　hi　ora　onne.
子供　も　見　て　から　老死する
孫も見てから年をとり

605 アオナハ　カ　ピリカ　アオンネレ。
a=onaha　ka　pirka　a=onnere.
(私の)父　も　良い　(私)看取る
天寿を全うして死にました。

イシカラ　エトコ[49]　ウン　ニシパ　カ
Iskar　etoko　un　nispa　ka
石狩川　の上流　の　長者　も
石狩川の河口の旦那さんたちも

ピリカ　アオンネレ　キ
pirka　a=onnere　ki
良い　(人)看取る　する
天寿を全うし

オカ　タ　ポシレシクテアン　ワ
oka　ta　posiresikte=an　wa
その後　で　子供がたくさんできる(私)　して
後で子供がたくさんできて

ウタシパ　ウコパヨカアン
utaspa　ukopayoka=an
お互いに　互いに行き来する(私)
私たちはお互いに行き来して

49　プトゥフ putuhu「河口」の言い間違い。

610 ウコシネウパアン。
ukosinewpa=an.
互いに訪ね合う(私)
訪ね合いました。

サケ　アコロ　コロ
sake　a=kor　kor
酒　(私)持つ　と
酒が手に入ると

アコイクタサ　イコイクタサ　ワ
a=koikutasa　i=koikutasa　wa
(私)酒を酌み交わす　(私に)酒を酌み交わし　て
互いに酌み交わしながら

オカアン　ロㇰ　ヒネ　オンネアン　ナ。
oka=an　rok　hine　onne=an　na.
暮らす(私)　だった　して　年をとる(私)　だよ
年をとっていったのでした。

アポ　ウタリ　カ　オンネ　ポロ　ヒ　オラ
a=po　utari　ka　onne　poro　hi　ora
(私の)子たち　も　年をとる　大きくなっ　て　から
息子たちも大きくなり

615 ヤイカタ　オンネアン　エトコ　タ
yaykata　onne=an　etoko　ta
自分　老死する(私)　前　に
私も死ぬ前に

スンク　トノ　マッ　ノミパ　クニ
sunku　tono　mat　nomipa　kuni
エゾマツ　神　妻　に祈る　ように
エゾマツの神の奥方に祈るよう

アコイタㇰムイェアン[50]　クス…
a=koitakmuye=an　kusu...
(私)に言い置く(私)　ので
子供たちに言い聞かせました。

アコイタㇰムイェ　ヤカナㇰネ
a=koitakmuye　yak　anakne
(私)言い置く　と　は
それは

“ネイ　パㇰノ　エチ…　スンク　トノ　マッ
“ney　pakno　eci=...　sunku　tono　mat
いつ　までも　(お前達)　エゾマツ　神　妻
「いつまでもエゾマツの神の奥方が

620 エチエプンキネ　クス　ネ　ナ”
eci=epunkine　kusu　ne　na”
(お前達を)守る　します　よ
おまえたちを守ってくれますよ」

セコロ　アン　ペ　アポ　ウタラ
sekor　an　pe　a=po　utar
と　いう　こと　(私の)子　たち
と子供たちに

アコイタㇰムイェ　コロ　アナン　アイネ
a=koitakmuye　kor　an=an　ayne
(私)言い置き　ながら　いる(私)　したあげく
言い聞かせつつ

50　２項動詞に人称接辞が前後についていると思われる例。あるいはアコ…イタㇰムイェアン a=ko… itakmuye=an と言い直しているのかも知れないが、音声を聞く限りでは途切れがないのでそのまま記した。

オンネアン　ペ　ネ　ア　クス　アイェ　セコロ
onne=an　pe　ne　a　kusu　a=ye　sekor
年をとる(私)　もの　だっ　た　ので　(私)言う　と

死んでいくのでお話ししますと

シノ　ニシパ　イソイタㇰ　セコン　ネ。
sino　nispa　isoytak　sekor_　ne.
真の　長者　物語る　と　さ

ひとりの旦那さんが物語りましたとさ。

アイヌ民族博物館　民話ライブラリ 1
上田トシの民話 1

発　行　日　　2015 年 2 月 28 日
編集・発行　　一般財団法人 アイヌ民族博物館
　　〒 059-0902 北海道白老郡白老町若草町 2 － 3 － 4
　　TEL 0144-82-4199　FAX 0144-82-6121

本書は平成 26 年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。